

授業科目名：コミュニケーションⅡ		クラス：F2A、B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：小林蓮佳			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
人間社会において、意思疎通、ビジネス、人間関係の構築に欠かせないコミュニケーション能力を聴く、話すトレーニングを重ねることで、コミュニケーションのテクニックを意識し、試みる態度を持つようになること。			
《到達目標（1年間）》			
いろいろな状況において、聞き手上手、話すのが苦手じゃなくなること。			
《授業の進め方と方法》			
グループに分けて、トピックに対して、議論、トレーニングを重ね、最終的に伝える練習をする発表をする			
《授業計画》			
① 授業の進め方、授業の意義について説明			
② グループごとに分かれて、自己紹介をする			
③ 「聴くトレーニングをする」意義と説明			
④ 自己紹介で「聴くトレーニングをする」聞く、質問するなど			
⑤ 日本語の曖昧さから見えるコミュニケーションの取り方を考える			
⑥ 異文化から見えるコミュニケーションの取り方を考える			
⑦ 「接触行動」からいろいろな国のコミュニケーションの取り方を比較する①			
⑧ 「接触行動」からいろいろな国のコミュニケーションの取り方を比較する②			
⑨ 他国の「接触行動」を理解したうえで、日本人とコミュニケーションの取り方を考える			
⑩ 主にビジネスにおけるメールのやり取りから見えるコミュニケーション能力			
⑪ メールでのコミュニケーションのフィードバックと感想を書く			
⑫ コミュニケーションの伝える能力のトレーニング			
⑬ 発表の準備			
⑭ 発表			
⑮ 発表			
《教科書》			
特になく、自作資料			
《評価の方法》			
出席、提出物、発表など総合的に評価する			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（2年）		クラス：B2A	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：2	期間：通年	総時間数：210	単位数：14
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験の目標受験級(N1)対策を通して、日本語能力を高めることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
日本語能力試験N 1 合格			
日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
分類別に語彙を導入、確認し整理する。問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
1 学期 ※ 7 月 JLPT 前には対策も取り入れる			
〈語彙〉 1-4 複合動詞 p.40～ 2-2 名詞（抽象的な物事） p.55～			
3-1 形容詞（精神、行為） p.102～			
〈文法〉 N1/N2 7 章～ 〈読解〉 41～			
〈ビジネス〉 チャプター 1 -1～			
2 学期 ※12月 JLPT 前には対策も取り入れる			
1 学期使用のテキストの続き			
〈語彙〉 3-2 形容詞（物事の様子） p.97～			
2-1 名詞（人間について） p.45～			
〈文法〉 N1/N2 10 章～ 〈読解〉 上級 6～			
〈ビジネス〉 チャプター 2-16～			
3 学期			
1、2 学期使用のテキストの続き			
〈語彙〉 4 副詞			
〈文法〉 N1/N2 13 章～ 終わり次第次の教材へ 〈読解〉 上級 22～			
〈ビジネス〉 セクション 1～			
《教科書》			
『短期合格日本語能力試験N1・N2語彙』スリーエーネットワーク、『試験に強くなる！中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク、『試験に強くなる！上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク、『日本語能力試験 N 1・N 2 試験に出る文法と表現』桐原書店、『マンガで体験！にっぽんのカイシャ～ビジネス日本語を実践する～』日本漢字検定能力検定協会、『それ、知りたかった！カイシャの日本語－マンガで学ぶビジネススキル＆ボキャブラリー』日本漢字検定能力検定協会			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
(※)3学期は校内試験を課さない			

授業科目名：ビジネス日本語（2年）		クラス：B2B	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：2	期間：通年	総時間数：210	単位数：14
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験の目標受験級（N2）対策を通して、日本語能力を高めることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
日本語能力試験N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解きながら、ポイントの解説を行っていく			
《授業計画》			
1 学期 〈語彙〉 2章27課～ ※7月JLPT前には対策も取り入れる 〈文法〉 12課～ 〈読解〉 1～ 〈ビジネス〉 10課～ / ユニット1-1～			
2 学期 1 学期使用のテキストの続き ※12月JLPT前には対策も取り入れる 〈語彙〉 1 回目 〈文法〉 第1 日目～ 〈読解〉 ユニット 1～ 〈ビジネス〉 チャプター1-1～ / ユニット5-1～			
3 学期 1、2 学期使用のテキストの続き 〈語彙〉 15回目 〈文法〉 11日目～ 〈読解〉 ユニット 4～ 〈ビジネス〉 チャプター2-13～			
《教科書》			
『文法Buddy JLPT日本語能力試験N2 - 文法からひろげる日本語トレーニング』ジャパントイズ出版、『1回で合格！日本語能力試験N2語彙』ナツメ社、『外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク、『聞いて慣れよう日本語の敬語』スリーエーネットワーク、『東京大学教養学部のアカデミック・ジャパニーズJ-PEAK中上級』ジャパントイズ出版、『日本語能力試験20日間で合格N2文法力アップドリル』国書刊行会、『JLPT文字語彙N2ポイント＆プラクティス』スリーエーネットワーク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
(※)3学期は校内試験を課さない			

授業科目名：ビジネス日本語（2年）		クラス：B2C	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：2	期間：通年	総時間数：210	単位数：14
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験の目標受験級(N2)対策を通して、日本語能力を高めることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
日本語能力試験N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解きながら、ポイントの解説を行っていく			
《授業計画》			
1 学期			
〈語彙〉 2 章24課～		※7月JLPT前には対策も取り入れる	
〈文法〉 9 課～			
〈読解〉 20～			
〈ビジネス〉 7 課～		／ 1 課～	
2 学期			
1 学期使用のテキストの続き		※12月JLPT前には対策も取り入れる	
〈語彙〉 2 章33課～		／ 1 回目～	
〈文法〉 11課～		／ 1 日目～	
〈読解〉 step2～			
〈ビジネス〉 3 課～			
3 学期			
1、2 学期使用のテキストの続き			
〈語彙〉 6 回目～			
〈文法〉 6 日目～			
〈読解〉 step3～			
〈ビジネス〉 7 課～			
《教科書》			
『文法Buddy JLPT日本語能力試験N2 - 文法からひろげる日本語トレーニング』ジャパントイズ出版、『1回で合格！日本語能力試験N2語彙』ナツメ社、『日本語学習者のための読解厳選テーマ25+10初中級』凡人社、『必ずできる！JLPT読解N2』アルク、『にほんごで働く！ビジネス日本語30時間』スリーエーネットワーク、『JLPT文字語彙N2 ポイント＆プラクティス』スリーエーネットワーク、『外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク、『日本語能力試験20日間で合格N2文法力アップドリル』国書刊行会			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
(※)3学期は校内試験を課さない			

授業科目名：ビジネス日本語（2年）		クラス：B2D	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：2	期間：通年	総時間数：210	単位数：14
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験の目標受験級(N3)対策を通して、日本語能力を高めることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
日本語能力試験N3合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解きながら、ポイントの解説を行っていく			
《授業計画》			
1 学期 〈語彙〉 N3レベルの漢字語彙を中心に 〈文法〉 1課～ 〈読解〉 UNIT1 第1回～ / 第1週～ 〈ビジネス〉 6課～ / ユニット1－1			
2 学期 1 学期使用のテキストの続き 〈語彙〉 第1部1課～ 〈文法〉 N3の復習 または N2レベルのテキストへ 〈読解〉 step2レベル4～ 〈ビジネス〉 ユニット2－1			
3 学期 1、2 学期使用のテキストの続き 〈語彙〉 第2部1課 〈文法〉 2 学期の続き 〈読解〉 テキストが終わり次第次のレベルへ 〈ビジネス〉 ユニット 4			
《教科書》			
『文法Buddy JLPT日本語能力試験N3 - 文法からひろげる日本語トレーニング』ジャパントイズ出版、『ドリル&ドリル日本語能力試験N2基礎力アップ』、株式会社ユニコム『「日本語能力試験対策」日本語総まとめN3読解』アスク出版、『にほんごで働く！ビジネス日本語30時間』スリーエーネットワーク、『聞いて慣れよう日本語の敬語』スリーエーネットワーク、『新完全マスターN3語彙』スリーエーネットワーク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
(※)3学期は校内試験を課さない			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：High	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS、K.BELL			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英語で技術的な議論ができ、複雑な文章の主要な内容を理解し、幅広い話題に関し明確な文章を作ることができる。 ・英文法を学習し、複雑な文章を正しく理解できる。さらに明確な英文を作成できる。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのB2または実用英語技能検定準1級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
各教官は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○4技能: テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話: プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○プレゼンテーション: 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 ○検定試験対策: 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○プレゼンテーション: パラグラフの構成 ○英会話: Giving opinions, Agreeing and disagreeing, Health and safety, Suggestions and advice, etc. ○4技能: Making bookings and checking arrangements, Writing an e-mail, etc.			
<2学期> ○プレゼンテーション: 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話: Giving a presentation, Rules and requests, Work idioms, Discussing issues, etc. ○4技能: Making decisions, Writing an e-mail, etc.			
<3学期> ○プレゼンテーション: 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話: Apologies and explanations, Tasks and targets, Dealing with complaints, Transportation and travel, etc. ○4技能: Describing a product, Writing an e-mail, etc.			
《教科書》			
・Market Leader Elementary (Pearson Longman)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50％、校内試験の結果50％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB2（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：High Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、小林			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 英語で技術的な議論ができ、複雑な文章の主要な内容を理解し、幅広い話題に関し明確な文章を作ることができる。 ・ 英文法を学習し、複雑な文章を正しく理解できる。さらに明確な英文を作成できる。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・ CEFRのB2または実用英語技能検定準１級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
各教官は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○4技能: テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話: プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○プレゼンテーション: 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 ○検定試験対策: 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○4 技能: Health and body, Going to a pharmacy, etc. ○プレゼンテーション: パラグラフの構成 ○英会話: Giving opinions, Agreeing and disagreeing, Health and safety, Suggestions and advice, etc.			
<2学期> ○4 技能: Directions, Asking how to get there, etc. ○プレゼンテーション: 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話: Giving a presentation, Rules and requests, Work idioms, Discussing issues, etc.			
<3学期> ○4 技能: People from different countries, On the phone, etc. ○プレゼンテーション: 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話: Apologies and explanations, Tasks and targets, Dealing with complaints, Transportation and travel, etc.			
《教科書》			
・ American English File Level 2 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB2（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS、柳瀬			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○４技能： プリントを用いて、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： テキストに沿って、ペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。			
《授業計画》			
<1学期> ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： パラグラフの構成 ○英会話： Charity work, Sports, Movies, etc.			
<2学期> ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話： Multinational Business, Tourism, Food, etc.			
<3学期> ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話： Technology, Science, etc.			
《教科書》			
・Reading Advantage 2 (Cengage Learning)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：Pre Inter.	
担当：K.ROBERTS、田中、柳瀬			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○4技能：テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話：プリントを用いて、ペアワーク、グループワークでのスピーキング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○4技能：Directions, Understanding a menu, etc. ○文法：Questions, Reported speech, -ing and to… ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○4技能：Places and buildings, city vacations, etc. ○文法：Go, get, do, make, and have, Pronouns and possessives, A and the ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○4技能：Phones and the internet, Public transportation, etc. ○文法：Determiners and pronouns, Adjectives and adverbs, Word order ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Level 1 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50％、校内試験の結果50％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：オフィスIT技術（留学生）		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D	
担当：高木、平澤、杉山			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
現代のパーソナルコンピュータの利用法を中心とした講義（演習科目）で、コンピュータの基本利用技術を身につけることを目的とする。			
エクセルを使いこなし、情報化社会に対応できるようになるのを目的としている。日商検定取得を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定（データ活用BASIC）取得を目指す			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用しての講義とパソコン操作の実技、プリント配布での実技			
《授業計画》			
・ Excelの基本 基本操作と表の作成 ・ Excelの基本 基本操作と表の作成 ・ Excelの基本 計算式 ・ Excelの基本 基本的な関数 ・ Excelの基本 複雑な関数 ・ Excelの基本 関数練習問題 ・ Excelの基本 グラフ ・ Excelの基本 グラフ練習問題 ・ Excelの応用 データベースの活用 ・ Excelの応用 データベースの活用 ・ 検定対策 練習問題と課題対策			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：Elementary	
担当：K.ROBERTS、小林、田中、柳瀬			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能：テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話：プリントを用いて、ペアワーク、グループワークでのスピーキング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能：Activities, Saying the date, talking on the phone ○文法：Questions, Reported speech, -ing and to… ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能：Traveling, Clothes, Inviting and offering ○文法：Go, get, do, make, and have, Pronouns and possessives, A and the ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能：Hotels, Asking for and giving directions ○文法：Determiners and pronouns, Adjectives and adverbs, Word order ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Starter (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネスプレゼンテーション		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D	
担当：山内、高木、平澤、杉山、山下、青山			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
これまで学んできたビジネスやプレゼンテーションに関する知識を生かし、新たなビジネスプランを作成し、ビジネス場面にふさわしい言葉を使用して、5分程度のプレゼンテーションを行う。			
《到達目標（1年間）》			
ビジネス場面にふさわしい言葉を使用してプレゼンテーションを行うことができる。			
《授業の進め方と方法》			
必要に応じてビジネスやプレゼンテーション、ビジネス日本語に関する知識の復習をしつつ、パワーポイントでスライドを作成し、発表を行う。基本的には、講師は個別で指導を行う。			
《授業計画》			
1 授業内容と課題についての説明 2 ビジネスプランの作成 マーケティングやビジネス知識を復習 3 パワーポイントを使用したスライドの作成 必要に応じて、パワーポイントやプレゼンテーション技術の復習 4 発表原稿作成 ビジネスプラン日本語の復習 5 発表練習 6 クラス内発表			
《教科書》			
なし			
《評価の方法》			
発表に出席状況や提出物を加味して評価			
《備考》			

授業科目名：社会・経済論		クラス：B2A,B.C.D	
担当：時安			
年次：1		総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
社会人として求められる社会・経済についての基礎知識を身につける			
≪到達目標（1年間）≫			
現在の日本社会の諸問題とビジネス経済について考察し理解を深める			
≪授業の進め方と方法≫			
プリントに記入しながら基礎事項を確認し、自分の考えをまとめる			
≪授業計画≫			
第1課 日本の社会・経済について			
第2課 少子高齢化問題・ジェンダーギャップ			
第3課 日本の労働環境 さまざまな働き方			
第4課 世界GDP比較・日本の在留外国人 ・日本の税体系			
第5課 産業の種類 企業の種類 企業の社会的責任			
第6課 日本の農業問題・エ 工業生産			
第7課 企業のビジネスモデル分析・垂直統合 TOY・水平分業			
第8課 仲介型プラットフォーム			
第9課 シェアリングエコノミー			
第10課 製造小売SPA			
第11課 フランチャイズ チェーン			
第12課 シェアリング エコノミー			
第13課 サブスクリプション			
第14課 行動経済学			
第15課 まとめ			
≪教科書≫			
ビジネスモデル（SBクリエイティブ）			
≪評価の方法≫			
プリント作成・意見発表・出席率			
≪備考≫			
授業の状況により取り上げる内容が多少変更する可能性があります			

授業科目名：異文化理解		クラス：F2A、B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：外部講師、袴田			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
外部からの講師による講義は、学生にとって目新しくもあり自分にも当てはまることでもあり、興味深く感じるようだ。単なる講義ではなく、人の生き様が見え隠れすることで学生の人生にも将来にも通じる内容で、ヒントや激励になるはずである。			
《到達目標（1年間）》			
留学生にとって日本だけが異文化ではなく、自分たちと同様海外からやってきている他の国の学生たちの文化も異文化である。異文化を敢えて意識化し、お互いの違いをどのように乗り越えるべきか考えるきっかけとなりそれが将来への助言になることを期待する。			
《授業の進め方と方法》			
講師がそれぞれPWPやプリントなどの教材を用意する。なるべくグループワークや活動などを利用し、活発な意見交換ができる授業を展開してほしいと願っている。			
お知り合いや卒業生など、身の回りで活躍する生まれが外国籍の方に講師をお願いする予定である。国籍には、なるべく多国籍に展開したいところだが、さまざまな理由で一人の先生に二回お願いするようなこともあり得る。例年は、ペルー、インドネシア、バングラデッシュ、台湾、ベトナム、さらには、海外で生活をしたことのある日本人先生にお願いし、アフリカ、イギリス、カザフスタン、南米などのお話も予定したいと考えている。			
《教科書》			
各講師の先生がご準備なさる			
《評価の方法》			
毎回、振り返りシートに授業の内容や感想を書かせて回収し、総合的に評価する			
《備考》			
授業をなさるのは外部講師だが、担当の袴田が毎回同席し、授業の内容、学生たちの様子を見て、評価につなげる			

授業科目名：ビジネスマナー（２年）		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D	
担当：眞田			
年次：2	期間：1 学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
「ビジネスマナー」の基本を学び、ビジネスマナーの基礎を学び、社会人として円滑なコミュニケーションがとれるよう目指していきます。実技も行う			
《到達目標（1年間）》			
ビジネスにおけるマナーの基本を学び、面接対策に向けて準備し、実践に行かせるようにする。			
《授業の進め方と方法》			
ホワイトボードまたは、プロジェクター、にて図解等表示する。ペア、グループワーク等による実践授業、プリントを使用し、ペーパーテスト及び、実技テスト,録音録画ワークなども行う。			
《授業計画》			
1 w 自己紹介・シラバス説明			
2 w 基礎マナーの復習			
3 w 聴く力 他己紹介			
4 w 伝える力 報告・他己紹介			
5 w ボイストレーニング基礎・練習・名のり・名刺交換 立ち居振る舞い			
6 w 敬語・尊敬語・丁寧語・美化語			
7 w 電話対応			
8 w 報告連絡相談			
9 w 報告連絡相談 演習			
10 w 面接時の質問対策基礎・自己PR			
11 w 1分間スピーチ			
12 w 面接対策			
13 w テスト			
14 w 心得・ビジネスシーンで使えるワンフレーズ			
15 w 総まとめ			
《教科書》			
作成プリント			
《評価の方法》			
出席率、授業態度(姿勢・表情・レスポンス・発声・意欲)、テスト			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：キャリアプランニングⅡ		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D	
担当：山西			
年次：2	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
就職活動に必要な知識を身につけ、より実践的な就職活動に結びつける			
《到達目標（1年間）》			
内定獲得／自ら考え就職活動			
《授業の進め方と方法》			
講義形式で、資料は適時配布			
《授業計画》			
①自己分析 ②適職診断 ③就活サイトの活用 ④求人票の見方 ⑤履歴書の作成 ⑥自己PRのことば ⑦面接マナー・WEB面接マナー・面接練習 ⑧メールのマナー・電話のマナー・封筒の書き方 ⑨名刺の基本マナー ⑩内定から入社まで ⑪就労ビザの取得 ⑫卒業後の就職活動（特定活動） ⑬社会人のマナー ⑭席次 ⑮あいさつことば ⑯話し方＆聞き方の基本 ⑰仕事をうまく進める方法 ⑱ミスした場合の対応 ⑲人間関係 ⑳コミュニケーション			
《教科書》			
自作教材 「就職ノート」を活用			
《評価の方法》			
出席／学習態度／課題提出			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する			

授業科目名：簿記Ⅱ		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：株式会社リバティ			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
企業経営・実務に役立つ簿記を習得します。			
《到達目標（1年間）》			
日商簿記3級レベルの簿記知識を身につけ決算書を作成、説明できるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
問題演習を通じて進めていきます。			
《授業計画》			
1w 簿記入門復習（基本用語と仕訳）			
2w 簿記入門復習（取引と勘定科目）			
3w 現金・預金取引の仕訳			
4w 商品売買（分記法・三分法）			
5w 手形取引（約束手形・為替手形）			
6w 現金過不足・小口現金の管理			
7w 固定資産の取得・減価償却			
8w 引当金（貸倒引当金）とその他の引当金			
9w 伝票会計（3伝票制・5伝票制）			
10w 決算整理①（棚卸減耗・商品評価損）			
11w 決算整理②（減価償却・貸倒引当金設定）			
12w 財務諸表の作成（損益計算書・貸借対照表）			
13w 総合演習①（仕訳問題）			
14w 総合演習②（決算整理問題）			
15w まとめと模擬試験			
《教科書》			
実際に役立つ簿記入門			
《評価の方法》			
テスト、出席、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：マーケティング（2年）		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：山下			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
マーケティングとは「売れる仕組みをつくる」ことです。マーケティングを学ぶことで、売り手の狙いや工夫が分かるようになったり、経営者の話がよく理解できるようになります。			
《到達目標（1年間）》			
マーケティングの基本について、ポイントを理解しキーワードを覚える。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式			
《授業計画》			
1.内部環境・外部環境		5.価格	
(1)PEST分析		(1)スキミング、ペネトレーション	
(2)ファイブフォースモデル		(2)価格設定方式	
(3)7S		(3)抱き合わせ価格	
(4)VRIO		(4)定価とオープン価格	
(5)SWOT		(5)EDLP	
2.マーケティングリサーチ		6.流通チャネル	
3.製品		(1)流通チャネル	
(1)生産財、消費財		(2)卸売業者	
(2)最寄品、買回品		(3)小売の輪理論	
(3)プライベートブランド		7.プロモーション	
(4)商品差別化		(1)プロモーションの基本	
(5)プロダクトライフサイクル		(2)SP媒体とSP手法	
4.戦略		(3)プッシュ型、プル型	
(1)戦略ドメイン		(4)広告の機能	
(2)PPM		(5)PR	
(3)競争地位別戦略			
《教科書》			
自作プリント、スライド			
《評価の方法》			
理解度テストや授業態度などにより総合的に評価する。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：会計管理		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：山下			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
会社の経営がうまくいっているかどうか、その原因は何かを知ることが、経営者として重要なことです。そのために決算書などがあります。この授業では数字を使った会社の管理方法を学びます。			
《到達目標（1年間）》			
ROA、損益分岐点比率、原価計算の基本を理解する。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式の説明、計算問題など。			
《授業計画》			
1.ROA（総資産利益率）		(5)労務費	
(1)ROAの計算方法		(6)経費	
(2)有名企業の決算書を見てROAを計算する		(7)原価標準	
(3)ROAの分解		(8)有利差異と不利差異	
(4)計算問題		(9)差異分析	
(5)ROAを上げるには		(10)シュラッター図	
2.損益分岐点分析			
(1)損益分岐点売上高			
(2)損益分岐点比率			
(3)安全余裕率			
(4)経営レバレッジ係数			
(5)計算問題			
(6)変動費と固定費			
3.原価計算の基本、差異分析			
(1)売上原価			
(2)仕掛品、半製品、製品			
(3)直接費と間接費			
(4)材料費			
《教科書》			
自作プリント、スライド。			
《評価の方法》			
理解度テストなどで総合的に評価する。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：人事・労務管理		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D	
担当：河合 優一郎			
年次： 2	期間： 1 学期間	総時間数： 3 0	単位数： 2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
基礎的な人事労務管理についてしっかりと知識を身に付けてもらいます。理論だけでなく、受講生が失業や傷病した時などに公的給付を受けるための手続きなど、役立つ知識も身に付けてもらいます。専門用語も多く出てきますので、基本的な用語をしっかりと理解できるように繰り返し学習してきます。			
《到達目標（1年間）》			
雇用契約書や給与明細書など見て内容がわかるようになる。服務規律など会社組織のルールについても理解し、日本の職場に馴染めるようになってもらう。外国人が思っている「常識のギャップ」を埋めてく。			
《授業の進め方と方法》			
労基法など法令の説明は最小限に抑え、雇用契約書や給与明細など実践的な資料を配賦していきます。基本的な専門用語も覚えてもらうため、飽きないようにクイズ形式で反復して覚えてもらいます。			
《授業計画》			
1.人事労務管理とは何か 2.日本の産業分類や会社内の組織の役割、人の役割について 3.人事労務管理の具体的な内容その1 4.人事労務管理の具体的な内容その2 5.人事労務管理の具体的な内容その3 6.人事労務管理の具体的な内容その4 7.人事労務管理の具体的な内容その5 8.労働関連の法律についてその1（労基法、労働契約法、雇用保険法、労災保険法など労働関連法規） 9.労働関連の法律についてその2（国民年金法、厚生年金保険法、確定拠出年金など社会保険関係法規） 10.日本の社会保障（国民皆年金、国民皆保険） 11.人事管理（人事考課、人事異動、昇格、社員教育） 12.就業規則その 1 13.就業規則その2 14.人事労務管理のまとめ1 15.人事労務管理のまとめ2 ※状況に応じて、内容変更の可能性あり。			
《教科書》			
厚生労働省作成の冊子などを一部コピーした資料を当日配布 例）厚生労働省作成の就業規則やさしい日本語版、雇用管理に役立つ多言語用語集 など			
《評価の方法》			
①授業出席状況 ②授業態度・姿勢、参加意欲、③授業終了後に行う理解度テストなどにより総合評価。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：マネジメント（2年）		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：山下			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
マネジメントの中でも「人」に関する部分としてリーダーシップ論について学び、組織やチームを効率よく運営するスキルを身に付ける。			
《到達目標（1年間）》			
リーダーシップ論の変遷を理解する。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式による			
《授業計画》			
1.日本の武将など 2.特性理論 3.行動理論 4.条件適合型理論 5.コンセプト理論 （1）カリスマ型リーダーシップ （2）変革型リーダーシップ （3）EQ型リーダーシップ （4）ファシリテーション型リーダーシップ （5）サーバント型リーダーシップ			
《教科書》			
自作プリント、スライド			
《評価の方法》			
理解度テスト、授業態度などにより総合的に評価する。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：生産・物流管理Ⅱ		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D	
担当：名倉			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
当科目では2年間をかけて、生産管理分野ならびにロジスティクス（物流）分野の仕事について全体像を把握し、基礎知識を学ぶものである。			
《到達目標（1年間）》			
第2学年に開講する本科目においては、生産管理分野を学ぶ。			
《授業の進め方と方法》			
毎回テーマに沿って、プリントを記入しながらすすめる			
《授業計画》			
1 生産管理とは？1 2 生産管理とは？2／小テスト 3 生産計画とは1 4 生産計画とは2／小テスト 5 リードタイム1 6 リードタイム2／小テスト 7 段取りと改善1 8 段取りと改善2／小テスト 9 注文の取り方の違い／小テスト 10 生産形態／小テスト 11 購買管理と調達管理／小テスト 12 製造管理1 13 製造管理2・進捗管理とトレーサビリティ1 14 進捗管理とトレーサビリティ2 15 テストとまとめ			
《教科書》			
プリントなどで対応			
《評価の方法》			
出席状況、授業態度、提出物などを総合して判断する。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：ビジネス心理		クラス：B2A,B2B,B2C,B2D（合同）	
担当：前田			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
心理学といっても特別なことはありません。普段の生活にととてもよく関わっていることに改めて気づくことで、これからの自分や周りの人との関係に変化がおこります。そして、これから社会人として働くための心の準備をしましょう。			
《到達目標（1年間）》			
ビジネス心理学の法則を活用して自分の強みを増やそう！			
《授業の進め方と方法》			
必要に応じて資料を配布します。			
《授業計画》			
1心理学とは感覚の不思議 2カクテルパーティ効果 3フットインザドアとドアインザフェイス 4バーナム効果 5ブラシボー効果吊り橋効果 6フレーミング効果 7バンドワゴン効果 8心の働きを考える 9いろいろな欲求 10対人関係の心理学1 11対人関係の心理学2 12怒り 13風景描写法 14テストレポート作成 15まとめ ※状況に応じて変更の可能性あり。順不同			
《教科書》			
必要に応じ資料を配布			
《評価の方法》			
出席状況・授業態度・提出物、			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：教養数学（自由選択）		クラス：1年2年	
担当：高木			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本留学生試験対策、その他の試験または就職活動の対策を目的とする。受講生1人1人にそれぞれに対応する。基礎確認問題、応用問題、実践問題と徐々にレベルを上げながら、講義形式と演習形式を交互に行う。			
《到達目標》			
試験合格を到達目標とする			
《授業の進め方と方法》			
基礎の確認、復習、基本の講義と演習、実際の試験を想定した問題の講義と演習へと進める。講義と演習を交互に行う。			
《授業計画》			
学生1人1人に対応するため、授業計画は個別で対応する			
《教科書》			
日本留学生試験過去問題集、SPI試験対策問題集、数検準2級対策本等。ただし、学生にはコピー等を配布するので用意する必要はない。			
《評価の方法》			
毎回の課題提出、テストなどで評価する。			
《備考》			

授業科目名：【外国語海外研修】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大60/60	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
既習の知識や技能を用いて、学習言語の運用能力の向上を目指す。語学学習に加え、観光など通じ現地の歴史・文化・人に触れることによって、研修国についての理解を深める。			
《到達目標》			
・ 学習言語を用いて生活することができる。 ・ 異文化交流を行い、研修国について理解できる。			
《授業の進め方と方法》			
原則、長期休暇中に本校と提携している学校の短期語学研修プログラムに参加する。			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
本校と提携している学校などの短期語学研修プログラムに参加し、修了証や成績表などのコピーと報告書を提出する。			
主な研修先 英語：フィリピン 中国語：北京、台湾 韓国語：ソウル、プサン			
《教科書》			
各研修機関により異なる。			
《評価の方法》			
研修期間や時間数により単位の認定は行うが、学内評価は行わない。			
《備考》			

授業科目名：英語観光ガイド研修（自由選択）		クラス：選択	
担当：小林典子			
年次：1 または 2 年次	期間：集中	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
観光英語の基礎を学び、日本の観光地を訪れた外国人旅行者に英語で観光地を紹介することができる力を育成する。			
《到達目標》			
●日本の文化（神社とお寺）事象について英語で表現することができる。			
●静岡市の観光名所を外国人旅行者に英語で説明できる。			
《授業の進め方と方法》			
校内で英語表現について学習した後、現場にて実際に外国人旅行者に神社と寺の英語ガイドを行う。			
《授業計画》			
Day 1 （4授業時間） 静岡の名産であるお茶の淹れ方を英語で学習する。 Day 2 （5授業時間） 静岡市の歴史について学び、その英語表現を学習する。 Day 3 （6授業時間） 静岡市の観光名所を訪れ、英語ガイドとして案内を行う。			
《教科書》			
関係書類を活用し、プリントを作成する。			
《評価の方法》			
1 5 授業時間の参加で 1 単位を認定する。			
《備考》			
本研修は、清水港に着港する客船の乗客（外国人旅行者）へ清水市内を案内する「しみず観光ガイドの会（清水市民活動センター内）」の活動の一環として行うものとする。			

シラバス

授業科目名：簿記【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次： 2	期間：集中	総時間数：最大 3 0	単位数：最大 2
授業科目内容			
《 授業の概要と目的 》			
日商簿記検定に合格するための対策講義			
《 到達目標 》			
日商簿記 3 級に合格する。			
《 授業の進め方と方法 》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《 授業計画 》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《 教科書 》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《 評価の方法 》			
出席、取り組みなどを総合的に評価する			
《 備考 》			

シラバス

授業科目名：インターンシップ（自由選択）		クラス：	
担当：山西			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大1/1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
仕事を体験することで、職業に対する理解を深める。			
《到達目標》			
社会人として必要なことを体験を通して身につける。 報告書が書けるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
事前説明 ↓ インターンシップ参加 ↓ 報告書提出 ↓ 報告会			
《教科書》			
《評価の方法》			
単位の認定は行うが、評価はしない。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：日本語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：山内、青山、勝又、時安、永井、山崎			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大120/90	単位数：最大8/6
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験に合格することを目的とし、主に読解対策を行う。			
《到達目標》			
日本語能力試験に合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：英語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：田中、藤田、小林、CORALIA			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英検に合格すること、TOEICおよびIELTSで高得点を取得できる技能を育成する。 ・実用英語技能検定（英検）、TOEIC Listening&Reading、およびIELTSの受験に向け、その試験対策を行う。			
《到達目標》			
英検を受け、受験級に合格できる。 TOEICで650点以上、およびIELTSでバンド 5 を取得することができる。			
《授業の進め方と方法》			
演習形式で各試験の問題を解き、その後解説を行う。			
《授業計画》			
受講希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：中国語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：俞虹、小林蓮佳、楊玲、名倉			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
HSKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
HSKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する			
《備考》			

シラバス

授業科目名：韓国語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：鄭淑然			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ハグル検定または、S-TOPIKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
ハングル検定に合格すること。 S-TOPIKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

教 育 課 程 表 (2025年度生)

ビジネスコミュニケーション学科

科目区分	必修・ 選択の 別	授業科目	1学年 年間合計 時間	1学年 単位	2学年 年間合計 時間	2学年 単位	授業時間 合計	単位数 合計
専門科目	必修	コミュニケーション I	30	2	0	0	30	2
		コミュニケーション II	0	0	15	1	15	1
		ビジネス日本語	255	17	210	14	465	31
		ビジネス英語	240	16	225	15	465	31
		パソコンリテラシー	120	8	0	0	120	8
		オフィスIT技術	30	2	60	4	90	6
		プレゼンテーション技術	30	2	0	0	30	2
		ビジネスプレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		社会・経済論	0	0	30	2	30	2
		異文化理解	0	0	30	2	30	2
		ビジネスマナー I	15	1	0	0	15	1
		ビジネスマナー II	0	0	15	1	15	1
		ホスピタリティ	30	2	0	0	30	2
		貿易	30	2	0	0	30	2
		キャリアプランニング I	15	1	0	0	15	1
		キャリアプランニング II	0	0	60	4	60	4
		簿記 I	30	2	0	0	30	2
		簿記 II	0	0	30	2	30	2
		マーケティング I	30	2	0	0	30	2
		マーケティング II	0	0	30	2	30	2
		会計管理	0	0	30	2	30	2
		人事・労務管理	0	0	30	2	30	2
		マネジメント I	30	2	0	0	30	2
		マネジメント II	0	0	30	2	30	2
		生産・物流管理 I	30	2	0	0	30	2
		生産・物流管理 II	0	0	30	2	30	2
		ビジネス心理	0	0	30	2	30	2
	自由 選択 (注1) (注2)	教養数学	30	2	30	2	60	4
		英語研修	60	4	60	4	120	8
		英語観光ガイド研修	15	1	15	1	30	2
		中国語研修	60	4	60	4	120	8
		韓国語研修	60	4	60	4	120	8
		簿記(検定対策)	0	0	30	2	30	2
		インターンシップ	30	2	30	2	60	4
		日本語検定対策	120	8	90	6	210	14
		英語検定対策	75	5	60	4	135	9
		中国語検定対策	75	5	60	4	135	9
		韓国語検定対策	75	5	60	4	135	9

卒業に必要な総授業時間数	870	58	870	58	1740	
--------------	-----	----	-----	----	------	--

注1:自由選択科目には長期休暇中などに実施されるものもある。

注2:外国語検定対策以外の自由選択科目は、1年次または2年次のいずれかで履修すること。

授業科目名：コミュニケーションⅠ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：袴田			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本が留学生を受け入れるようになったのは1952年。右肩上がりにその数を増やしてきたが、最近、日本社会の「秩序」を掲げ外国人問題について議論している。日本の国際化も一つの節目を迎えている。そのような状況の中、留学生の中にも異なる文化を持つ人間が共に暮らすにはどうしたらよいかを自問自答する必要性が高まっている。コミュニケーションのメカニズムを客観的に捉えることにより、自分の文化についてばかりでなく、他の文化との関係性やコミュニケーションのあり方などについても、考えたり話し合ったりすることによって、客観的にこの問題を捉える姿勢を養うことを目指す。			
《到達目標（1年間）》			
世界のさまざまな文化の際立つ特徴や問題点などを眺めながら、自分の文化を客観的にながめることができること、他の文化に関心を持つこと、文化には優劣もなく、それぞれが良さや問題点を持ち合わせながら長い時間をかけて築かれたものだということなどを知ること目標としたい。授業を通して、それぞれに配慮、敬意を抱くことができるよう導いていきたい。			
《授業の進め方と方法》			
なるべく話し合う機会や活動を取り入れたい。視覚に訴える教材を使いながら飽きのこない活気のある授業として進めたい。多くの未知のことを知ることを楽しいと思ってくれることやそれが自己変革につながることを期待している。			
《授業計画》			
①授業についての説明			
②第一回「コミュニケーションとは？」／エンパシーの重要性			
③第二回「文化への理解その1」見える文化＆見えない文化、自分の常識とあなたの非常識			
④第二回「文化への理解その2」トータルカルチャー＆サブカルチャー／多文化ダイアグラム作成			
⑤課題Ⅰ			
⑥第三回「文化の違いに気づく」発想の転換／視覚、環境により起こる錯覚（ゲーム形式）			
⑦第四回「異文化の認識」思い込み、固定観念／ステレオタイプ			
⑧復習＆第一回理解度テスト			
⑨第五回「世界の価値観」個人主義＆集団主義、高文脈文化＆低文脈文化			
⑩第六回「非言語コミュニケーション」非言語のコミュニケーションの重要性和種類			
⑪課題Ⅱ			
⑫第七回「アサーティブ・コミュニケーション」			
⑬「差別問題」について議論			
⑭復習＆第二回理解度テスト			
⑮授業に関する振り返りをまとめて発表／ミニパーティ			
《教科書》			
コミュニケーション関連の文献を参考にした自作教材を使用			
《評価の方法》			
二回行う理解度テストと課題、授業内の取り組みや発言などを総合的に評価する			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：High	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS、K BELL			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○英会話：プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○4技能: テキストに沿ってビジネスで多用する用語やスキルの説明をした後、練習問題を行う。			
《授業計画》			
<1学期> ○文法：Tenses (Present, Past, Future) ○英会話：Meeting new colleagues, Everyday work activities, Business around the world, Asking questions at work, etc. ○４技能: Introducing yourself and others, Writing an e-mail, etc.			
<2学期> ○文法：Tenses (Present perfect, Past perfect), Asking Questions ○英会話：Choosing a job, Personal qualities, Describing your workplace and job, Workplace routines, etc. ○４技能: Talking about work and leisure, Writing an e-mail, etc.			
<3学期> ○文法：Nouns and pronouns, Modal auxiliaries ○英会話：Hobbies and habits, Dates and times, Carrer history, Company history, Talking about your plans, etc. ○４技能: Telephoning, Solving problems, Writing an e-mail, etc.			
《教科書》			
・Market Leader Elementary (Pearson Longman)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：High Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、小林			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・ CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○英会話： プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○4技能: テキストに沿ってビジネスで多用する用語やスキルの説明をした後、練習問題を行う。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能： Describing peoples, Calling reception, etc. ○文法： Tenses (Present, Past, Future) ○英会話： Meeting new colleagues, Everyday work activities, Business around the world Asking questions at work, etc.			
<2学期> ○４技能： Airports, Shopping, At the restaurant, etc. ○文法： Tenses (Present perfect, Past perfect), Asking Questions ○英会話： Choosing a job, Personal qualities, Describing your workplace and job, Workplace routines, etc.			
<3学期> ○４技能： Describing a town, Taking something back to a store, etc. ○文法： Nouns and pronouns, Modal auxiliaries ○英会話： Hobbies and habits, Dates and times, Carrer history, Company history, Talking about your plans, etc.			
《教科書》			
・ American English File Level 2 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：Inter.	
担当：Y.ASSADY、C.CIACIRU、K.ROBERTS、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・ CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能：プリントを用いて、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話：テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○英会話：Animals, Food, Buildings, etc. ○文法：Present, Past, Present perfect ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○英会話：Pets, eBooks, Festivals, etc. ○文法：Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○英会話：Historical buildings, Laptop computers, Science, etc. ○文法：Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Reading Advantage Level 1 (Cengage Learning)📖			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：Pre Inter.	
担当： K.ROBERTS、田中、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・ CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： プリントを用いて、ペアワーク、グループワークによる、ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能： Classroom language, Feelings, etc. ○文法： Present, Past, Present perfect ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能： Jobs, Family, Daily routine, etc. ○文法： Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能： The weather and seasons, Music, etc. ○文法： Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Level 1 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス:Elementary	
担当：K.ROBERTS、小林、田中、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、個人的な情報について簡単なやり取りをすることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのA1または実用英語技能検定3級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は文法・４技能・検定試験対策のどれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能：テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能：Classroom language, Feelings, etc. ○文法：Present, Past, Present perfect ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能：Jobs, Family, Daily routine, etc. ○文法：Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能：The weather and seasons, Music, etc. ○文法：Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Level 1 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA1（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネスマナー（１年）		クラス：B1A、B1B、B1C、B1D、B1E	
担当：眞田			
年次：１	期間：１・２学期間	総時間数：３０	単位数：２
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
「ビジネスマナー」の必要性と基本を学ぶ。基本姿勢から挨拶、動作、気遣い、身だしなみ、立ち居振る舞い等の基礎知識を習得する。			
《到達目標（１年間）》			
ビジネスマナーの基本を学び、社会人として実践に行かせるようにする。			
《授業の進め方と方法》			
ホワイトボードまたは、プロジェクター、にて図解等表示する。ペア、グループワーク等による実技授業、プリントを使用し、ペーパーテスト及び、実技テスト,録音録画ワークなども行う。			
《授業計画》			
1W 自己紹介・シラバス説明・オリエンテーション	16W 復習定着確認・企業のマナー重視		
2W 自己紹介・第一印象について社会人の心構え	17W 言語情報・話の内容		
3W 第一印象の重要性・挨拶・身だしなみ	18W 社会人の心構えおもてなしの心		
4W あいさつ・お辞儀	19W 話し方聞き方		
5W ビジネスマナー5原則・接客7大用語	20W 敬語 1		
6W 基本姿勢・表情・立ち居振る舞い	21W 敬語 2		
7W 視覚情報・入室・退室	22W クッション言葉		
8W 入室・退室実技テスト	23W 食文化・日本食・食事マナー		
9W 日本・自国他国のマナー習慣の違いについて	24W 日本食・会食マナー基本実技テスト		
10W 筆記テスト	25W 自己分析		
11W 視覚情報マナー・実技・態度	26W PR作成		
12W 聴覚情報・声と呼吸について	27W 自己紹介		
13W 挨拶・発声・ボイストレーニング	28W スピーチテスト		
14W 発声・ボイストレーニング	29W ビジネスマナー心得・目標設定・補足		
15W テスト・目標設定	30W 総復習・まとめ		
《教科書》			
作成プリント等			
《評価の方法》			
出席数、授業態度(姿勢・表情・レスポンス・発声・意欲)、テスト			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：ホスピタリティ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：前田			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本のおもてなし、ホスピタリティとは。これから社会人になるために必要なホスピタリティの心を身につけましょう。			
《到達目標（1年間）》			
ホスピタリティの心を知り、これからの職場、人間関係に役立つ知識を習得する。			
《授業の進め方と方法》			
プリント等必要に応じて配布。			
《授業計画》			
1 ホスピタリティとは 2 ホスピタリティの基本 3 ホスピタリティの成り立ち ホスピタリティの効果 4 江戸しぐさ 5 ホスピタリティマインド 6 アサーション 7 おもてなしの心 8 ホスピタリティ お茶 9 ホスピタリティ 1, 基本マナー 10 ホスピタリティ 2, 気くばり 11 ホスピタリティ 3, 心くばり 12 ホスピタリティマインド 傾聴 13 ビジネスにおけるホスピタリティ 14 テスト レポート作成 15 まとめ			
※状況に応じて変更の可能性あり。順不同			
《教科書》			
必要に応じて資料を配布			
《評価の方法》			
出席状況・授業態度・提出物、			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：東アジア文化Ⅰ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：小林蓮佳、小林範彦、楊玲、山内、高木			
年次：1	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
学習している言語の背景となる文化への理解を深めることで、言語学習への意欲を高める。			
《到達目標（1年間）》			
異なる文化を学び、知ることを通してお互いを尊重できるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
基本的には講義形式で進めるが、内容によっては体験を通して学んだり、調べたことを発表したりすることもある。			
《授業計画》			
1学期		2学期	
1. 中国の概況（地理的位置、周辺国家、人口など）		1. 日本文化紹介①	
2. 中国語の構造と簡単な挨拶		2. 日本文化紹介②	
3. 中国名勝地の紹介①		3. 日本文化についてグループで調べる①	
4. 中国名勝地の紹介②		4. 日本文化についてグループで調べる②	
5. 中国の食文化について		5. 日本文化についてグループで調べる③	
6. 中国の教育について		6. 調べたことをまとめる①	
7. 中国の「華流」について		7. 調べたことをまとめる②	
8. 韓国の概況		8. 調べたことをまとめる③	
9. 韓国の文字の歴史と挨拶		9. 発表の準備と練習	
10.韓国の会食と食事マナー、習慣		10. 調べたことを発表する①	
11. 干支と親孝行		11. 調べたことを発表する②	
12. 韓国人の姓、多文化家族		12. 調べたことを発表する③	
13. 歴史、分断国家		13. 日本文化紹介③	
14. 韓流（音楽）		14. 日本文化紹介④	
15. まとめ（中・韓のレポート、小テストなど）		15. まとめ（レポート、感想、小テストなど）	
《教科書》			
なし（講師の自作プリントなど）			
《評価の方法》			
出席・授業への積極性・提出物、発表、確認テストなどの結果を総合して評価			
《備考》			

シラバス

授業科目名：貿易		クラス：1 A、1 B、1 D、1 C、1 E	
担当：山内、田中			
年次：1	期間：1 学期間	総時間数：3 0	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
国内取引と貿易の違いを知り、貿易におけるお金と物と書類の流れを理解する。			
《到達目標（1年間）》			
貿易の基礎知識とともに、ビジネス関連用語を理解し、身につける。			
《授業の進め方と方法》			
プリントを配布し、それに沿って主に講義形式で授業を進める。			
《授業計画》			
1 週：貿易とは？自分の国の輸出入について調べてみる			
2 週：貿易と国内取引との違い			
3 週：貿易のリスク			
4 週：貿易の基本的な流れと関連企業・機関			
5 週：物・金・書類の流れ（日本からの輸出を例に）			
6 週：輸出の流れと必要書類			
7 週：信用状取引とは			
8 週：インコタームズとは			
9 週：貿易の専門業者の仕事			
10週：輸送方法について			
11週：税関の仕事、関税について			
12週：輸入の流れ			
13週：貿易の書類（インボイスとパッキングリスト）			
14週：確認テスト			
15週：清水港における貿易			
《教科書》			
なし（自作プリント）			
参考書籍：			
《評価の方法》			
出席状況、確認テスト			
《備考》			

授業科目名：マーケティング（1年）		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：山下			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
マーケティングとは「売れる仕組みをつくる」ことです。マーケティングを学ぶことで、売り手の狙いや工夫が分かるようになったり、経営者の話がよく理解できるようになります。			
《到達目標（1年間）》			
マーケティングの基本について、ポイントを理解しキーワードを覚える。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式			
《授業計画》			
1.マーケティング総論		(5)パレートの法則	
(1)マーケティング志向		(6)LTV	
(2)製品の核		(7)マズローの欲求5段階説	
(3)サービス		(8)アルファダのERG理論	
(4)経営理念、経営戦略		(9)計画購買	
(5)3C		(10)AIDMA	
(6)ニーズとウォンツ		(11)AISAS	
(7)セグメンテーション		(12)コトラーの購買決定プロセス	
(8)ターゲティング		(13)イノベーター理論	
(9)ポジショニング		(14)AIO分析	
(10)商品コンセプト		(15)デモグラフィック変数	
(11)4P			
2.顧客			
(1)CS			
(2)顧客満足のピラミッド			
(3)動機づけ衛生理論			
(4)1対5の法則			
《教科書》			
自作プリント、スライド			
《評価の方法》			
理解度テストや授業態度などにより総合的に評価する			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：マネジメント（1年）		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：山下			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
マネジメントとは何かを学び、そのスキルを高めることで、管理職の目線で考えることができるようになる。			
《到達目標（1年間）》			
セルフマネジメント、チームマネジメントを理解する。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式			
《授業計画》			
1.マネジメントとは何か （1）マネジメントの本質 （2）マネジメントの歴史 2.セルフマネジメント （1）重点思考 （2）整理・整頓 （3）ルーチン 3.チームマネジメント （1）集団からチームへ （2）熱と理と情 （3）ゴールセッティング （4）リソースマネジメント （5）コミュニケーションマネジメント （6）コンフリクトマネジメント （7）リーダーシップ （8）キャプテンシー			
《教科書》			
「サクッとわかるビジネス教養マネジメント」、スライド			
《評価の方法》			
理解度テストや授業態度などにより総合的に評価する。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：生産・物流管理Ⅰ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：名倉			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
当科目では2年間をかけて、生産管理分野ならびにロジスティクス（物流）分野の仕事について全体像を把握し、基礎知識を学ぶものである。			
《到達目標（1年間）》			
第1学年に開講する本科目においては、ロジスティクス全般を学ぶ。			
《授業の進め方と方法》			
毎回テーマに沿って、プリントを記入しながらすすめる			
《授業計画》			
1 導入、物流・ロジスティクスとは 2 物流6大機能①輸配送 3 物流6大機能②保管 4 物流6大機能③荷役 5 物流6大機能④包装 6 物流6大機能⑤流通加工 7 物流6大機能⑥情報管理 8 物流6大機能のまとめテスト 9 物流ネットワーク 10 コンテナリゼーション 11 ノードについて 12 モードについて 13 輸送の仕組みとラストワンマイル 14 しまむら、楽天、アマゾンの物流 15 物流ネットワークのまとめテスト			
《教科書》			
プリントなどで対応 参考テキスト 『物流のしくみ』田中康仁 同文館出版			
《評価の方法》			
出席状況、授業態度、小テストなどを総合して判断する。			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：パソコンリテラシー（留学生）		クラス：日本語①、日本語②、日本語③、日本語④	
担当：高木、平澤、杉山			
年次： 1	期間： 2 学期間	総時間数： 1 2 0	単位数： 8
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
現代社会（日本国内での一般的）におけるパソコンの基礎・ビジネスで使用するワードの作成・編集の基礎知識を習得を目的とする			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定Basic文書作成合格を目指す ビジネスで通じるパソコンの基礎力をつけ, Wordの基本技術の習得と概念の理解			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用しての講義とパソコン操作の実技プリント配布での実技			
《授業計画》			
・パソコンの種類や仕組みの説明 ・学校でのパソコン使用方法の説明 ・パソコンの日本語入力の練習 （毎回生徒の入力状況に応じて） STEP 1 あいうえおのローマ字入力 カタカナ入力 STEP 2 日本語あいさつの入力 STEP 3 漢字入力 ・タイピング練習 テキストの文字を入力することによりタイピング練習 ・5月から9月：Wordの基礎実技【日商PC検定BASIC対策及びよく使用する機能】 ・文字入力、文字列の編集〔移動、複写、挿入、削除 等〕 ・文書の書式・体裁を整える 〔センタリング、右寄せ、インデント、タブ、小数点揃え、部分的な縦書き、均等割付け等〕 ・文字修飾・文字強調〔文字サイズ、書体（フォント）、網かけ、アンダーライン等〕 ・罫線処理 ・表の作成・編集〔表内の行・列・セルの編集と表内文字列の書式体裁等〕 等 ・10月11月：日商PC文書作成Basicの模擬問題 ・12月：日商PCBasic文書作成検定			
《教科書》			
日商PC検定Basic・留学生のためのWordなど抜粋しプリント			
《評価の方法》			
出席：50％ 、 課題点（検定合格含む）：50％			
《備考》			

授業科目名：オフィスIT技術（留学生）		クラス：日本語①、日本語②、日本語③、日本語④	
担当：高木、平澤、杉山			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
現代のパーソナルコンピュータの利用法を中心とした講義（演習科目）で、コンピュータの基本利用技術を身につけることを目的とする。			
ワードを使いこなし、情報化社会に対応できるようになるのを目的としている。日商検定取得を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定（文書作成BASIC）取得を目指す			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用しての講義とパソコン操作の実技、プリント配布での実技			
《授業計画》			
・日本語入力について ・ワードの見方 ・文字の打ち込み方、変換について ・文章の入力（1） ・文章の編集（1） ・文書の入力（2） ・文章の編集（2） ・文章内に画像を入れる ・描画ツールの使い方 ・罫線の入力 ・表の作成 ・表作成と表操作 ・まとめ			
《教科書》			
プリント等			
《評価の方法》			
出席50％、課題点（検定合格含む）：50％			
《備考》			

授業科目名：パソコンリテラシー		クラス：日本人	
担当：高木			
年次：1	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
Excelの最新版の技術習得と実践			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定データ活用3級レベルに到達する			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
《授業計画》			
1 w Excelとは何か			
2 w Excelの保存やセル等の基本			
3 w 表操作等			
4 w グラフⅠ			
5 w グラフⅡ			
6 w 数式Ⅰ			
7 w 数式Ⅱ			
8 w 数式Ⅲ			
9 w 数式Ⅳ			
10 w データと校閲と表示			
11 w 演習Ⅰ			
12 w 演習Ⅱ			
13 w 演習Ⅲ			
14 w 演習Ⅳ			
15 w 試験			
《教科書》			
『日商PC検定データ活用3級』技術評論社			
《評価の方法》			
参加度50%、課題点50%			
《備考》			

授業科目名：オフィスIT技術		クラス：日本人	
担当：高木			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
Wordの最新版の技術習得と実践			
《到達目標（1年間）》			
Wordの基本技術の習得と概念の理解			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
《授業計画》			
1 w Wordとは何か			
2 w Wordの保存やセル等の基本			
3 w 表操作等			
4 w タイピング練習Ⅰ			
5 w タイピング練習Ⅱ			
6 w レイアウト			
7 w 参考資料			
8 w 差込資料・校閲			
9 w 描画・デザイン			
10 w データと校閲と表示			
11 w 演習Ⅰ			
12 w 演習Ⅱ			
13 w 演習Ⅲ			
14 w 演習Ⅳ			
15 w 試験			
《教科書》			
なし（随時プリントを配布する）			
《評価の方法》			
参加度50%、課題点50%			
《備考》			
習熟度によって内容は変更する場合がある			

授業科目名：中国語（文法）		クラス：1年中国語	
担当：俞虹・楊玲・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
文字語彙を確実に読めて、理解すると同時に、中国語の文法ルールを身に着ける。さらに、中国語で表現できるようにする。			
≪到達目標（1年間）≫			
HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi＝中国語レベル試験) H3の取得 初級の文字・語彙・文法をマスターすること ※H1（初級）～H6（上級）			
≪授業の進め方と方法≫		講義・演習	
≪授業計画≫			
1年間（HSK1級～3級に出てくる文法を身に着け、応用する）			
4月～ ピンイン、名詞文、動詞文			
5月～ HSK1級（前半）、文法の活用（プリント）			
6月～ HSK1級（後半）、文法の活用（プリント）			
7月～ HSK2級（5課まで）、文法の活用（プリント）			
9月～ HSK2級（10課まで）、文法の活用（プリント）			
10月～ HSK2級（15課まで）、文法の活用（プリント）			
11月～ HSK3級（1課～4課）、文法の活用（プリント）			
12月～ HSK3級（5課～8課）、文法の活用（プリント）			
1月～ HSK3級（9課～12課）、文法の活用（プリント）			
2月～ HSK3級（13課～16課）、文法の活用（プリント）			
3月～ HSK3級（17課～20課）、文法の活用（プリント）			
≪教科書≫			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版			
≪評価の方法≫			
教師評価100％（小テスト、出席、授業態度、提出物などによる評価）			
≪備考≫			

文字・語彙の復習、文法の把握と応用

授業科目名：中国語（総合スキル）		クラス：1年中国語	
担当：俞虹・楊玲・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ピンインからスタートして、初級の聴き、話す、読み、書きの4技能を総合的に伸ばすことを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi＝中国語レベル試験) H3の取得 簡単な挨拶、簡単なフレーズを中国語で表現できるようになる ※H1（初級）～H6（上級）			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
HSK1のテキストをリレー式で学び、その後HSK2級を教科書に沿って課ごとの文法、文字・語彙を活用した総合的な学習を進めていく。			
《授業計画》			
1年間（HSK1級～HSK3級）			
4月～ ピンインの読み書き			
5月～ HSK1級ワークブック（前半）（リスニング、リーディング、ライティング）			
6月～ HSK1級ワークブック（後半）（リスニング、リーディング、ライティング）			
7月～ HSK2級ワークブック（5課まで）（リスニング、リーディング、ライティング）			
9月～ HSK2級ワークブック（10課まで）（リスニング、リーディング、ライティング）			
10月～ HSK2級ワークブック（15課まで）（リスニング、リーディング、ライティング）			
11月～ HSK3級ワークブック（1課～4課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
12月～ HSK3級ワークブック（5課～8課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
1月～ HSK3級ワークブック（9課～12課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
2月～ HSK3級ワークブック（13課～16課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
3月～ HSK3級ワークブック（17課～20課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
《教科書》			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』Workbook北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』Workbook北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』Workbook北京語言大学出版			
《評価の方法》			
教師評価50％（小テスト、出席、授業態度、提出物などによる評価） 校内試験50％			
《備考》			

授業科目名：中国語（会話）		クラス：1年中国語	
担当：俞虹・楊玲・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ピンインからスタートして、文字、語彙、文法の習得を確認しながら、ペアワークやグループワークを通して、場面に適した会話力を伸ばす。			
《到達目標（1年間）》			
HSKk(Hanyu Shuiping Kaoshi＝中国語レベル試験) 初級の取得 初級レベルの会話で自由に受け答えができる ※H1（初級）～H6（上級）			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
1～2カ月間をかけて中国語の基礎となるピンイン（発音）を習い、会話を中心に課ごと進めていく。			
《授業計画》			
1年間（HSK1級～3級に出てくる表現を身に着ける）			
4月～ 挨拶文、自己紹介、友達紹介			
5月～ HSK1級（前半）、ペアワーク、グループワーク、応用			
6月～ HSK1級（後半）、ペアワーク、グループワーク、応用			
7月～ HSK2級（5課まで）、ペアワーク、グループワーク、応用			
9月～ HSK2級（10課まで）、ペアワーク、グループワーク、応用			
10月～ HSK2級（15課まで）、ペアワーク、グループワーク、応用			
11月～ HSK3級（1課～4課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
12月～ HSK3級（5課～8課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
1月～ HSK3級（9課～12課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
2月～ HSK3級（13課～16課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
3月～ HSK3級（17課～20課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
《教科書》			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版			
《評価の方法》			
教師評価100％（出席、発話の積極性、提出物などによる評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語（文法）		クラス：1年韓国語	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次：1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国語文字「ハングル」の認識、発音を身に着け、基礎と中級の文法の説明、練習を重ねて、応用ができ、初級～中級或いは中級～上級へスムーズにシフトできることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
韓国語の発音をマスターし、それぞれのレベルの文の意味を理解し、さらに表現したい文が作れる。 1年②：1年間でTOPIKⅠ～2級・ハン検5級～4級の取得を目指す。 1年①：1年間でTOPIKⅡの3級OR4級、ハングル検定、3級以上			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
発音が終わると課ごとの文法の解説、活用を中心とした授業をする			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2A（テキスト） 第1課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～8課（1A）	①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2B(テキスト) 第1課～第8課（2B） Easy Korean 3A（テキスト） 第1課～第4課（3A） ①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第1課～第8課（1B）	①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 3A（テキスト） 第5課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第1課～第4課（2A）	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A～3A 2022年（改訂版）ハングルパーク			
《評価の方法》			
講師評価100％（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどにより評価する）			
《備考》			

授業科目名：韓国語（総合スキル）		クラス：1 年韓国語	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次：1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国語の初級と中級の語彙を増やし、文を読み、簡単な文を書いて、本文を聞くなど、総合的な韓国語力を伸ばすのを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
1年②：1年間でTOPIKⅠ～2級・ハン検5級～4級の取得、且つ簡単な読み書きができる			
1年①：1年間でTOPIKⅡの3級OR4級、ハングル検定、3級以上の取得、且つ、中級レベル文の読み書きができる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
ゼロレベルの発音部分では3人の講師がテキストをリレー式で担当していく。発音が終わると課ごとの読み・書き・聞きを重点的に進めていく			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2A（テキスト） 第1課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～8課（1A）	1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2B(テキスト) 第1課～第8課（2B） Easy Korean 3A（テキスト） 第1課～第4課（3A） ①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第1課～第8課（1B）	1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 3A（テキスト） 第5課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第1課～第4課（2A）	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A～3A 2022年（改訂版）ハングルパーク			
《評価の方法》			
講師評価 50％（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどにより評価する） 校内試験 50％			
《備考》			

授業科目名：韓国語（会話）		クラス：1年韓国語	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次：1	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
1年②は簡単なあいさつから始め、日常会話で使う言葉とある程度難易度のある言葉で意思を表現できるようになるのを目的とする。			
1年①は会話の中で慣用句、熟語などの活用ができるようになることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
1年②は日常会話ができる 1年①は読む難しい表現の会話ができる。			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
1年②はハングルが読めるようになったら、課ごと文型を使った練習を通して、応用会話のトレーニングをする。1年①は資料で抜粋した内容の慣用句、熟語、漢字用語を学びながら、会話に活用する。			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
1年①（ハングル検定4級以上） 慣用句から抜粋 漢字成語から抜粋 熟語から抜粋			
①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～8課（1A） 「말하기」部分	①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第1課～第8課（1B） 「말하기」部分	①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第1課～第4課（2A） 「말하기」部分	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク 参考書 [살아있는 한국어] の慣用句、漢字成語、熟語シリーズ			
《評価の方法》			
講師評価100％（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどによる総合評価）			
《備考》			

シラバス

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語①	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験の目標受験級(主にN1)対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N１・N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：副詞・形容詞	【ビジネス日本語】 1学期：Unit 1 ～ 3	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	
2学期：形容詞・動詞	2学期：Unit 3 ～ 5	2学期：第 5 ～ 8 課	
3学期：動詞	3学期：就職活動に向けて ※新しいテキストは未定	3学期：第 9 ～10課	
《教科書》			
『短期合格日本語能力試験N1・N2語彙』スリーエーネットワーク 『中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語』The Japan Times、『文法Buddy JLPTN1』The Japan Times			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語②	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験のN2対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：1～10課	【ビジネス日本語】 1学期：Unit 1 ～2	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	【読解】 1学期：Step1
2学期：11～20課	2学期：Unit 3 ～4	2学期：第 5 ～ 8 課	2学期：Step 2
3学期：20～25課	3学期：Unit5	3学期：第 9 ～10課	3学期：Step 3
《教科書》			
『中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語』 The Japan Times、『文法Buddy JLPTN2』 The Japan Times 『１回で合格！日本語能力試験N2語彙』 ナツメ社、『必ずできる！JLPT「読解」N2』 アルク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語③	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験のN2対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：1～10課	【ビジネス日本語】 1学期：Unit 1 ～2	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	【読解】 1学期：Step1
2学期：11～20課	2学期：Unit 3 ～4	2学期：第 5 ～ 8 課	2学期：Step 2
3学期：20～25課	3学期：Unit5	3学期：第 9 ～10課	3学期：Step 3
《教科書》			
『中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語』 The Japan Times、『文法Buddy JLPTN2』 The Japan Times 『１回で合格！日本語能力試験N2語彙』 ナツメ社、『必ずできる！JLPT「読解」N2』 アルク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語④	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験のN3対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能なごく基礎的な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N3合格 日本で働くために必要なごく基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：1～12課	【聴解】 1 学期： 1 章～ 8 章 J.TESTの問題	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	【読解】 1学期：Step1 J.TESTの問題
2学期：14～24課	【ビジネス日本語】 2 学期： 1 ～ 3	2学期：第 5 ～ 8 課	2学期：Step 1 ～ 2
3学期：25～30課	3 学期： 4 ～ 5	3学期：第 9 ～10課	3学期：Step 2
《教科書》			
『JLPT文字・語彙N3ポイント＆プラクティス』スリーエーネットワーク、『文法Buddy JLPTN3』The Japan Times 『日本語速読チャレンジ100 中級』UNICOM、『にほんごで働く！ビジネス日本語30時間』スリーエーネットワーク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：キャリアプランニングⅠ（留学生）		クラス：日本語①、日本語②、日本語③、日本語④	
担当：山西			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
就職活動に必要な知識を身につけ、より実践的な就職活動に結びつける			
《到達目標（1年間）》			
内定獲得／自ら考え就職活動			
《授業の進め方と方法》			
講義形式で、資料は適時配布			
《授業計画》			
① テーマ・到達目標・授業方法・注意点・評価方法・就職状況 ② 自己紹介 ③ 就職活動の仕組み・年度採用・新卒採用・既卒採用・スケジュール ④ 就職活動にかかる費用・身だしなみ・持ち物・メールアドレス ⑤ 書類の申請（出席証明書・成績証明書・卒業見込み証明書） ⑥ 運転免許・インターンシップ ⑦ 税金（課税証明書・納税証明書・国民健康保険料） ⑧ 就職活動で大切なこと・ほうれんそう ⑨ 就労ビザの考え方（技術・人文知識・国際業務） ⑩ 特定技能			
《教科書》			
自作教材 「就職ノート」を活用			
《評価の方法》			
出席／学習態度／課題提出			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する			

授業科目名：教養数学（自由選択）		クラス：1年2年	
担当：高木			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本留学生試験対策、その他の試験または就職活動の対策を目的とする。受講生1人1人にそれぞれに対応する。基礎確認問題、応用問題、実践問題と徐々にレベルを上げながら、講義形式と演習形式を交互に行う。			
《到達目標》			
試験合格を到達目標とする			
《授業の進め方と方法》			
基礎の確認、復習、基本の講義と演習、実際の試験を想定した問題の講義と演習へと進める。講義と演習を交互に行う。			
《授業計画》			
学生1人1人に対応するため、授業計画は個別で対応する			
《教科書》			
日本留学生試験過去問題集、SPI試験対策問題集、数検準2級対策本等。ただし、学生にはコピー等を配布するので用意する必要はない。			
《評価の方法》			
毎回の課題提出、テストなどで評価する。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：【外国語海外研修】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大60/60	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
既習の知識や技能を用いて、学習言語の運用能力の向上を目指す。語学学習に加え、観光など通じ現地の歴史・文化・人に触れることによって、研修国についての理解を深める。			
《到達目標》			
・ 学習言語を用いて生活することができる。 ・ 異文化交流を行い、研修国について理解できる。			
《授業の進め方と方法》			
原則、長期休暇中に本校と提携している学校の短期語学研修プログラムに参加する。			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
本校と提携している学校などの短期語学研修プログラムに参加し、修了証や成績表などのコピーと報告書を提出する。			
主な研修先 英語：フィリピン 中国語：北京、台湾 韓国語：ソウル、プサン			
《教科書》			
各研修機関により異なる。			
《評価の方法》			
研修期間や時間数により単位の認定は行うが、学内評価は行わない。			
《備考》			

授業科目名：英語観光ガイド研修（自由選択）		クラス：選択	
担当：小林典子			
年次：1 または 2 年次	期間：集中	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
観光英語の基礎を学び、日本の観光地を訪れた外国人旅行者に英語で観光地を紹介することができる力を育成する。			
《到達目標》			
●日本の文化（神社とお寺）事象について英語で表現することができる。			
●静岡市の観光名所を外国人旅行者に英語で説明できる。			
《授業の進め方と方法》			
校内で英語表現について学習した後、現場にて実際に外国人旅行者に神社と寺の英語ガイドを行う。			
《授業計画》			
Day 1（4授業時間） 静岡の名産であるお茶の淹れ方を英語で学習する。 Day 2（5授業時間） 静岡市の歴史について学び、その英語表現を学習する。 Day 3（6授業時間） 静岡市の観光名所を訪れ、英語ガイドとして案内を行う。			
《教科書》			
関係書類を活用し、プリントを作成する。			
《評価の方法》			
1 5 授業時間の参加で 1 単位を認定する。			
《備考》			
本研修は、清水港に着港する客船の乗客（外国人旅行者）へ清水市内を案内する「しみず観光ガイドの会（清水市民活動センター内）」の活動の一環として行うものとする。			

シラバス

授業科目名：簿記【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次： 2	期間：集中	総時間数：最大 3 0	単位数：最大 2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日商簿記検定に合格するための対策講義			
《到達目標》			
日商簿記 3 級に合格する。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組みなどを総合的に評価する			
《備考》			

シラバス

授業科目名：インターンシップ（自由選択）		クラス：	
担当：山西			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大1/1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
仕事を体験することで、職業に対する理解を深める。			
《到達目標》			
社会人として必要なことを体験を通して身につける。 報告書が書けるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
事前説明 ↓ インターンシップ参加 ↓ 報告書提出 ↓ 報告会			
《教科書》			
《評価の方法》			
単位の認定は行うが、評価はしない。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：日本語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：山内、青山、勝又、時安、永井、山崎			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大120/90	単位数：最大8/6
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験に合格することを目的とし、主に読解対策を行う。			
《到達目標》			
日本語能力試験に合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：英語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：田中、藤田、小林、CORALIA			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英検に合格すること、TOEICおよびIELTSで高得点を取得できる技能を育成する。 ・実用英語技能検定（英検）、TOEIC Listening&Reading、およびIELTSの受験に向け、その試験対策を行う。			
《到達目標》			
英検を受け、受験級に合格できる。 TOEICで650点以上、およびIELTSでバンド5を取得することができる。			
《授業の進め方と方法》			
演習形式で各試験の問題を解き、その後解説を行う。			
《授業計画》			
受講希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：中国語【対策】（自由選択）		クラス：		
担当：俞虹、小林蓮佳、楊玲、名倉				
年次： 1 / 2		期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容				
《授業の概要と目的》				
HSKに合格することを目的とし、試験対策を行う。				
《到達目標》				
HSKに合格すること。				
《授業の進め方と方法》				
問題を解き、それに対する解説を行う。				
《授業計画》				
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。				
《教科書》				
履修希望者を募集する際に知らせる。				
《評価の方法》				
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する				
《備考》				

シラバス

授業科目名：韓国語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：鄭淑然			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ハングル検定または、S-TOPIKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
ハングル検定に合格すること。 S-TOPIKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

教 育 課 程 表 (2026年度生より)

ビジネスコミュニケーション学科

科目区分	必修・ 選択の 別	授業科目	1学年 年間合計 時間	1学年 単位	2学年 年間合計 時間	2学年 単位	授業時間 合計	単位数 合計
専門科目	必修	コミュニケーション	30	2	0	0	30	2
		ビジネスプレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		ビジネス英語	225	15	225	15	450	30
		ビジネスマナー	30	2	30	2	60	4
		ホスピタリティ	30	2	0	0	30	2
		東アジア文化	60	4	60	4	120	8
		貿易	30	2	0	0	30	2
		マーケティング	30	2	30	2	60	4
		人事・労務管理	0	0	30	2	30	2
		マネジメント	30	2	30	2	60	4
		生産・物流管理Ⅰ	30	2	0	0	30	2
		生産・物流管理Ⅱ	0	0	30	2	30	2
	選択必修	パソコンリテラシー(留学生)★	120	8	0	0	120	8
		オフィスIT技術(留学生)★	30	2	60	4	90	6
		パソコンリテラシー(日本人)	60	4	0	0	60	4
		オフィスIT技術(日本人)	15	1	30	2	45	3
		中国語	345	23	390	26	735	49
		韓国語	345	23	390	26	735	49
		ビジネス日本語★	255	17	300	20	555	37
		キャリアプランニングⅠ★	15	1	0	0	15	1
		キャリアプランニングⅡ★	0	0	60	4	60	4
	自由 選択 (注1) (注2)	教養数学	30	2	30	2	60	4
		英語研修	60	4	60	4	120	8
		英語観光ガイド研修	15	1	15	1	30	2
		中国語研修	60	4	60	4	120	8
		韓国語研修	60	4	60	4	120	8
		簿記(検定対策)	0	0	30	2	30	2
		インターンシップ	30	2	30	2	60	4
		日本語検定対策	120	8	90	6	210	14
		英語検定対策	75	5	60	4	135	9
		中国語検定対策	75	5	60	4	135	9
		韓国語検定対策	75	5	60	4	135	9

卒業に必要な総授業時間数	870	58	870	58	1740	
--------------	-----	----	-----	----	------	--

注1:自由選択科目には長期休暇中などに実施されるものもある。

注2:外国語検定対策以外の自由選択科目は、1年次または2年次のいずれかで履修すること。

選択必修では、留学生は★の科目を選択

授業科目名：コミュニケーションⅠ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：袴田			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本が留学生を受け入れるようになったのは1952年。右肩上がりにその数を増やしてきたが、最近では、日本社会の「秩序」を掲げ外国人問題について議論している。日本の国際化も一つの節目を迎えている。そのような状況の中、留学生の中にも異なる文化を持つ人間が共に暮らすにはどうしたらよいかを自問自答する必要性が高まっている。コミュニケーションのメカニズムを客観的に捉えることにより、自分の文化についてばかりでなく、他の文化との関係性やコミュニケーションのあり方などについても、考えたり話し合ったりすることによって、客観的にこの問題を捉える姿勢を養うことを目指す。			
《到達目標（1年間）》			
世界のさまざまな文化の際立つ特徴や問題点などを眺めながら、自分の文化を客観的にながめることができること、他の文化に関心を持つこと、文化には優劣もなく、それぞれが良さや問題点を持ち合わせながら長い時間をかけて築かれたものだということなどを知ること目標としたい。授業を通して、それぞれに配慮、敬意を抱くことができるよう導いていきたい。			
《授業の進め方と方法》			
なるべく話し合う機会や活動を取り入れたい。視覚に訴える教材を使いながら飽きのこない活気のある授業として進めたい。多くの未知のことを知ることを楽しいと思ってくれることやそれが自己変革につながることを期待している。			
《授業計画》			
①授業についての説明			
②第一回「コミュニケーションとは？」／エンパシーの重要性			
③第二回「文化への理解その1」見える文化＆見えない文化、自分の常識とあなたの非常識			
④第二回「文化への理解その2」トータルカルチャー＆サブカルチャー／多文化ダイアグラム作成			
⑤課題Ⅰ			
⑥第三回「文化の違いに気づく」発想の転換／視覚、環境により起こる錯覚（ゲーム形式）			
⑦第四回「異文化の認識」思い込み、固定観念／ステレオタイプ			
⑧復習＆第一回理解度テスト			
⑨第五回「世界の価値観」個人主義＆集団主義、高文脈文化＆低文脈文化			
⑩第六回「非言語コミュニケーション」非言語のコミュニケーションの重要性和種類			
⑪課題Ⅱ			
⑫第七回「アサーティブ・コミュニケーション」			
⑬「差別問題」について議論			
⑭復習＆第二回理解度テスト			
⑮授業に関する振り返りをまとめて発表／ミニパーティ			
《教科書》			
コミュニケーション関連の文献を参考にした自作教材を使用			
《評価の方法》			
二回行う理解度テストと課題、授業内の取り組みや発言などを総合的に評価する			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：High	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS、K BELL			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○英会話：プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○4技能: テキストに沿ってビジネスで多用する用語やスキルの説明をした後、練習問題を行う。			
《授業計画》			
<1学期> ○文法：Tenses (Present, Past, Future) ○英会話：Meeting new colleagues, Everyday work activities, Business around the world, Asking questions at work, etc. ○４技能: Introducing yourself and others, Writing an e-mail, etc.			
<2学期> ○文法：Tenses (Present perfect, Past perfect), Asking Questions ○英会話：Choosing a job, Personal qualities, Describing your workplace and job, Workplace routines, etc. ○４技能: Talking about work and leisure, Writing an e-mail, etc.			
<3学期> ○文法：Nouns and pronouns, Modal auxiliaries ○英会話：Hobbies and habits, Dates and times, Carrer history, Company history, Talking about your plans, etc. ○４技能: Telephoning, Solving problems, Writing an e-mail, etc.			
《教科書》			
・Market Leader Elementary (Pearson Longman)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：High Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、小林			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・ CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○英会話： プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○4技能: テキストに沿ってビジネスで多用する用語やスキルの説明をした後、練習問題を行う。			
《授業計画》			
<1学期> ○4技能： Describing peoples, Calling reception, etc. ○文法： Tenses (Present, Past, Future) ○英会話： Meeting new colleagues, Everyday work activities, Business around the world Asking questions at work, etc.			
<2学期> ○4技能： Airports, Shopping, At the restaurant, etc. ○文法： Tenses (Present perfect, Past perfect), Asking Questions ○英会話： Choosing a job, Personal qualities, Describing your workplace and job, Workplace routines, etc.			
<3学期> ○4技能： Describing a town, Taking something back to a store, etc. ○文法： Nouns and pronouns, Modal auxiliaries ○英会話： Hobbies and habits, Dates and times, Carrer history, Company history, Talking about your plans, etc.			
《教科書》			
・ American English File Level 2 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50％、校内試験の結果50％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：Inter.	
担当：Y.ASSADY、C.CIACIRU、K.ROBERTS、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・ CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能： プリントを用いて、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○英会話： Animals, Food, Buildings, etc. ○文法： Present, Past, Present perfect ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○英会話： Pets, eBooks, Festivals, etc. ○文法： Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○英会話： Historical buildings, Laptop computers, Science, etc. ○文法： Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Reading Advantage Level 1 (Cengage Learning)☑			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス：Pre Inter.	
担当：K.ROBERTS、田中、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・ CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： プリントを用いて、ペアワーク、グループワークによる、ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能： Classroom language, Feelings, etc. ○文法： Present, Past, Present perfect ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能： Jobs, Family, Daily routine, etc. ○文法： Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能： The weather and seasons, Music, etc. ○文法： Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Level 1 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（１年）		クラス:Elementary	
担当：K.ROBERTS、小林、田中、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、個人的な情報について簡単なやり取りをすることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのA1または実用英語技能検定3級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は文法・４技能・検定試験対策のどれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能：テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能：Classroom language, Feelings, etc. ○文法：Present, Past, Present perfect ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能：Jobs, Family, Daily routine, etc. ○文法：Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能：The weather and seasons, Music, etc. ○文法：Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Level 1 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA1（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネスマナー（１年）		クラス：B1A、B1B、B1C、B1D、B1E	
担当：眞田			
年次：１	期間：１・２学期間	総時間数：３０	単位数：２
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
「ビジネスマナー」の必要性と基本を学ぶ。基本姿勢から挨拶、動作、気遣い、身だしなみ、立ち居振る舞い等の基礎知識を習得する。			
《到達目標（１年間）》			
ビジネスマナーの基本を学び、社会人として実践に行かせるようにする。			
《授業の進め方と方法》			
ホワイトボードまたは、プロジェクター、にて図解等表示する。ペア、グループワーク等による実技授業、プリントを使用し、ペーパーテスト及び、実技テスト,録音録画ワークなども行う。			
《授業計画》			
1W 自己紹介・シラバス説明・オリエンテーション	16W 復習定着確認・企業のマナー重視		
2W 自己紹介・第一印象について社会人の心構え	17W 言語情報・話の内容		
3W 第一印象の重要性・挨拶・身だしなみ	18W 社会人の心構えおもてなしの心		
4W あいさつ・お辞儀	19W 話し方聞き方		
5W ビジネスマナー5原則・接客7大用語	20W 敬語 1		
6W 基本姿勢・表情・立ち居振る舞い	21W 敬語 2		
7W 視覚情報・入室・退室	22W クッション言葉		
8W 入室・退室実技テスト	23W 食文化・日本食・食事マナー		
9W 日本・自国他国のマナー習慣の違いについて	24W 日本食・会食マナー基本実技テスト		
10W 筆記テスト	25W 自己分析		
11W 視覚情報マナー・実技・態度	26W PR作成		
12W 聴覚情報・声と呼吸について	27W 自己紹介		
13W 挨拶・発声・ボイストレーニング	28W スピーチテスト		
14W 発声・ボイストレーニング	29W ビジネスマナー心得・目標設定・補足		
15W テスト・目標設定	30W 総復習・まとめ		
《教科書》			
作成プリント等			
《評価の方法》			
出席数、授業態度(姿勢・表情・レスポンス・発声・意欲)、テスト			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：ホスピタリティ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：前田			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本のおもてなし、ホスピタリティとは。これから社会人になるために必要なホスピタリティの心を身につけましょう。			
《到達目標（1年間）》			
ホスピタリティの心を知り、これからの職場、人間関係に役立つ知識を習得する。			
《授業の進め方と方法》			
プリント等必要に応じて配布。			
《授業計画》			
1 ホスピタリティとは 2 ホスピタリティの基本 3 ホスピタリティの成り立ち ホスピタリティの効果 4 江戸しぐさ 5 ホスピタリティマインド 6 アサーション 7 おもてなしの心 8 ホスピタリティ お茶 9 ホスピタリティ 1, 基本マナー 10 ホスピタリティ 2, 気くばり 11 ホスピタリティ 3, 心くばり 12 ホスピタリティマインド 傾聴 13 ビジネスにおけるホスピタリティ 14 テスト レポート作成 15 まとめ			
※状況に応じて変更の可能性あり。順不同			
《教科書》			
必要に応じて資料を配布			
《評価の方法》			
出席状況・授業態度・提出物、			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する。			

授業科目名：東アジア文化Ⅰ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：小林蓮佳、小林範彦、楊玲、山内、高木			
年次：1	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
学習している言語の背景となる文化への理解を深めることで、言語学習への意欲を高める。			
《到達目標（1年間）》			
異なる文化を学び、知ることを通してお互いを尊重できるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
基本的には講義形式で進めるが、内容によっては体験を通して学んだり、調べたことを発表したりすることもある。			
《授業計画》			
1学期		2学期	
1. 中国の概況（地理的位置、周辺国家、人口など）		1. 日本文化紹介①	
2. 中国語の構造と簡単な挨拶		2. 日本文化紹介②	
3. 中国名勝地の紹介①		3. 日本文化についてグループで調べる①	
4. 中国名勝地の紹介②		4. 日本文化についてグループで調べる②	
5. 中国の食文化について		5. 日本文化についてグループで調べる③	
6. 中国の教育について		6. 調べたことをまとめる①	
7. 中国の「華流」について		7. 調べたことをまとめる②	
8. 韓国の概況		8. 調べたことをまとめる③	
9. 韓国の文字の歴史と挨拶		9. 発表の準備と練習	
10.韓国の会食と食事マナー、習慣		10. 調べたことを発表する①	
11. 干支と親孝行		11. 調べたことを発表する②	
12. 韓国人の姓、多文化家族		12. 調べたことを発表する③	
13. 歴史、分断国家		13. 日本文化紹介③	
14. 韓流（音楽）		14. 日本文化紹介④	
15. まとめ（中・韓のレポート、小テストなど）		15. まとめ（レポート、感想、小テストなど）	
《教科書》			
なし（講師の自作プリントなど）			
《評価の方法》			
出席・授業への積極性・提出物、発表、確認テストなどの結果を総合して評価			
《備考》			

シラバス

授業科目名：貿易		クラス：1A、1B、1D、1C、1E	
担当：山内、田中			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
国内取引と貿易の違いを知り、貿易におけるお金と物と書類の流れを理解する。			
《到達目標（1年間）》			
貿易の基礎知識とともに、ビジネス関連用語を理解し、身につける。			
《授業の進め方と方法》			
プリントを配布し、それに沿って主に講義形式で授業を進める。			
《授業計画》			
1週：貿易とは？自分の国の輸出入について調べてみる 2週：貿易と国内取引との違い 3週：貿易のリスク 4週：貿易の基本的な流れと関連企業・機関 5週：物・金・書類の流れ（日本からの輸出を例に） 6週：輸出の流れと必要書類 7週：信用状取引とは 8週：インコタームズとは 9週：貿易の専門業者の仕事 10週：輸送方法について 11週：税関の仕事、関税について 12週：輸入の流れ 13週：貿易の書類（インボイスとパッキングリスト） 14週：確認テスト 15週：清水港における貿易			
《教科書》			
なし（自作プリント） 参考書籍：			
《評価の方法》			
出席状況、確認テスト			
《備考》			

授業科目名：マーケティング（1年）		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：山下			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
マーケティングとは「売れる仕組みをつくる」ことです。マーケティングを学ぶことで、売り手の狙いや工夫が分かるようになったり、経営者の話がよく理解できるようになります。			
《到達目標（1年間）》			
マーケティングの基本について、ポイントを理解しキーワードを覚える。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式			
《授業計画》			
1.マーケティング総論		(5)パレートの法則	
(1)マーケティング志向		(6)LTV	
(2)製品の核		(7)マズローの欲求5段階説	
(3)サービス		(8)アルファダのERG理論	
(4)経営理念、経営戦略		(9)計画購買	
(5)3C		(10)AIDMA	
(6)ニーズとウォンツ		(11)AISAS	
(7)セグメンテーション		(12)コトラーの購買決定プロセス	
(8)ターゲティング		(13)イノベーター理論	
(9)ポジショニング		(14)AIO分析	
(10)商品コンセプト		(15)デモグラフィック変数	
(11)4P			
2.顧客			
(1)CS			
(2)顧客満足のピラミッド			
(3)動機づけ衛生理論			
(4)1対5の法則			
《教科書》			
自作プリント、スライド			
《評価の方法》			
理解度テストや授業態度などにより総合的に評価する			
《備考》			

授業科目名：マネジメント（1年）		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：山下			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
マネジメントとは何かを学び、そのスキルを高めることで、管理職の目線で考えることができるようになる。			
《到達目標（1年間）》			
セルフマネジメント、チームマネジメントを理解する。			
《授業の進め方と方法》			
講義形式			
《授業計画》			
1.マネジメントとは何か （1）マネジメントの本質 （2）マネジメントの歴史 2.セルフマネジメント （1）重点思考 （2）整理・整頓 （3）ルーチン 3.チームマネジメント （1）集団からチームへ （2）熱と理と情 （3）ゴールセッティング （4）リソースマネジメント （5）コミュニケーションマネジメント （6）コンフリクトマネジメント （7）リーダーシップ （8）キャプテンシー			
《教科書》			
「サクッとわかるビジネス教養マネジメント」、スライド			
《評価の方法》			
理解度テストや授業態度などにより総合的に評価する。			
《備考》			

授業科目名：生産・物流管理Ⅰ		クラス：1A、1B、1C、1D、1E	
担当：名倉			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
当科目では2年間をかけて、生産管理分野ならびにロジスティクス（物流）分野の仕事について全体像を把握し、基礎知識を学ぶものである。			
《到達目標（1年間）》			
第1学年に開講する本科目においては、ロジスティクス全般を学ぶ。			
《授業の進め方と方法》			
毎回テーマに沿って、プリントを記入しながらすすめる			
《授業計画》			
1 導入、物流・ロジスティクスとは 2 物流6大機能①輸配送 3 物流6大機能②保管 4 物流6大機能③荷役 5 物流6大機能④包装 6 物流6大機能⑤流通加工 7 物流6大機能⑥情報管理 8 物流6大機能のまとめテスト 9 物流ネットワーク 10 コンテナリゼーション 11 ノードについて 12 モードについて 13 輸送の仕組みとラストワンマイル 14 しまむら、楽天、アマゾンの物流 15 物流ネットワークのまとめテスト			
《教科書》			
プリントなどで対応 参考テキスト 『物流のしくみ』田中康仁 同文館出版			
《評価の方法》			
出席状況、授業態度、小テストなどを総合して判断する。			
《備考》			

授業科目名：パソコンリテラシー（留学生）		クラス：日本語①、日本語②、日本語③、日本語④	
担当：高木、平澤、杉山			
年次： 1	期間： 2 学期間	総時間数： 1 2 0	単位数： 8
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
現代社会（日本国内での一般的）におけるパソコンの基礎・ビジネスで使用するワードの作成・編集の基礎知識を習得を目的とする			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定Basic文書作成合格を目指す ビジネスで通じるパソコンの基礎力をつけ, Wordの基本技術の習得と概念の理解			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用しての講義とパソコン操作の実技プリント配布での実技			
《授業計画》			
・パソコンの種類や仕組みの説明 ・学校でのパソコン使用方法の説明 ・パソコンの日本語入力の練習 （毎回生徒の入力状況に応じて） STEP 1 あいうえおのローマ字入力 カタカナ入力 STEP 2 日本語あいさつの入力 STEP 3 漢字入力 ・タイピング練習 テキストの文字を入力することによりタイピング練習 ・5月から9月：Wordの基礎実技【日商PC検定BASIC対策及びよく使用する機能】 ・文字入力、文字列の編集〔移動、複写、挿入、削除 等〕 ・文書の書式・体裁を整える 〔センタリング、右寄せ、インデント、タブ、小数点揃え、部分的な縦書き、均等割付け等〕 ・文字修飾・文字強調〔文字サイズ、書体（フォント）、網かけ、アンダーライン等〕 ・罫線処理 ・表の作成・編集〔表内の行・列・セルの編集と表内文字列の書式体裁等〕 等 ・10月11月：日商PC文書作成Basicの模擬問題 ・12月：日商PCBasic文書作成検定			
《教科書》			
日商PC検定Basic・留学生のためのWordなど抜粋しプリント			
《評価の方法》			
出席：50％ 、 課題点（検定合格含む）：50％			
《備考》			

授業科目名：オフィスIT技術（留学生）		クラス：日本語①、日本語②、日本語③、日本語④	
担当：高木、平澤、杉山			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
現代のパーソナルコンピュータの利用法を中心とした講義（演習科目）で、コンピュータの基本利用技術を身につけることを目的とする。			
ワードを使いこなし、情報化社会に対応できるようになるのを目的としている。日商検定取得を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定（文書作成BASIC）取得を目指す			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用しての講義とパソコン操作の実技、プリント配布での実技			
《授業計画》			
・日本語入力について ・ワードの見方 ・文字の打ち込み方、変換について ・文章の入力（1） ・文章の編集（1） ・文書の入力（2） ・文章の編集（2） ・文章内に画像を入れる ・描画ツールの使い方 ・罫線の入力 ・表の作成 ・表作成と表操作 ・まとめ			
《教科書》			
プリント等			
《評価の方法》			
出席50％、課題点（検定合格含む）：50％			
《備考》			

授業科目名：パソコンリテラシー		クラス：日本人	
担当：高木			
年次：1	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
Excelの最新版の技術習得と実践			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定データ活用3級レベルに到達する			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
《授業計画》			
1 w Excelとは何か			
2 w Excelの保存やセル等の基本			
3 w 表操作等			
4 w グラフⅠ			
5 w グラフⅡ			
6 w 数式Ⅰ			
7 w 数式Ⅱ			
8 w 数式Ⅲ			
9 w 数式Ⅳ			
10 w データと校閲と表示			
11 w 演習Ⅰ			
12 w 演習Ⅱ			
13 w 演習Ⅲ			
14 w 演習Ⅳ			
15 w 試験			
《教科書》			
『日商PC検定データ活用3級』技術評論社			
《評価の方法》			
参加度50%、課題点50%			
《備考》			

授業科目名：オフィスIT技術		クラス：日本人	
担当：高木			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
Wordの最新版の技術習得と実践			
《到達目標（1年間）》			
Wordの基本技術の習得と概念の理解			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
《授業計画》			
1 w Wordとは何か			
2 w Wordの保存やセル等の基本			
3 w 表操作等			
4 w タイピング練習Ⅰ			
5 w タイピング練習Ⅱ			
6 w レイアウト			
7 w 参考資料			
8 w 差込資料・校閲			
9 w 描画・デザイン			
10 w データと校閲と表示			
11 w 演習Ⅰ			
12 w 演習Ⅱ			
13 w 演習Ⅲ			
14 w 演習Ⅳ			
15 w 試験			
《教科書》			
なし（随時プリントを配布する）			
《評価の方法》			
参加度50%、課題点50%			
《備考》			
習熟度によって内容は変更する場合がある			

授業科目名：中国語（文法）		クラス：1年中国語	
担当：俞虹・楊玲・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
文字語彙を確実に読めて、理解すると同時に、中国語の文法ルールを身に着ける。さらに、中国語で表現できるようにする。			
《到達目標（1年間）》			
HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi＝中国語レベル試験) H3の取得 初級の文字・語彙・文法をマスターすること ※H1（初級）～H6（上級）			
《授業の進め方と方法》		講義・演習	
《授業計画》			
1年間（HSK1級～3級に出てくる文法を身に着け、応用する）			
4月～ ピンイン、名詞文、動詞文			
5月～ HSK1級（前半）、文法の活用（プリント）			
6月～ HSK1級（後半）、文法の活用（プリント）			
7月～ HSK2級（5課まで）、文法の活用（プリント）			
9月～ HSK2級（10課まで）、文法の活用（プリント）			
10月～ HSK2級（15課まで）、文法の活用（プリント）			
11月～ HSK3級（1課～4課）、文法の活用（プリント）			
12月～ HSK3級（5課～8課）、文法の活用（プリント）			
1月～ HSK3級（9課～12課）、文法の活用（プリント）			
2月～ HSK3級（13課～16課）、文法の活用（プリント）			
3月～ HSK3級（17課～20課）、文法の活用（プリント）			
《教科書》			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版			
《評価の方法》			
教師評価100％（小テスト、出席、授業態度、提出物などによる評価）			
《備考》			

文字・語彙の復習、文法の把握と応用

授業科目名：中国語（総合スキル）		クラス：1年中国語	
担当：俞虹・楊玲・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ピンインからスタートして、初級の聴き、話す、読み、書きの4技能を総合的に伸ばすことを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi＝中国語レベル試験) H3の取得 簡単な挨拶、簡単なフレーズを中国語で表現できるようになる ※H1（初級）～H6（上級）			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
HSK1のテキストをリレー式で学び、その後HSK2級を教科書に沿って課ごとの文法、文字・語彙を活用した総合的な学習を進めていく。			
《授業計画》			
1年間（HSK1級～HSK3級）			
4月～ ピンインの読み書き			
5月～ HSK1級ワークブック（前半）（リスニング、リーディング、ライティング）			
6月～ HSK1級ワークブック（後半）（リスニング、リーディング、ライティング）			
7月～ HSK2級ワークブック（5課まで）（リスニング、リーディング、ライティング）			
9月～ HSK2級ワークブック（10課まで）（リスニング、リーディング、ライティング）			
10月～ HSK2級ワークブック（15課まで）（リスニング、リーディング、ライティング）			
11月～ HSK3級ワークブック（1課～4課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
12月～ HSK3級ワークブック（5課～8課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
1月～ HSK3級ワークブック（9課～12課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
2月～ HSK3級ワークブック（13課～16課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
3月～ HSK3級ワークブック（17課～20課）（リスニング、リーディング、ライティング）			
《教科書》			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』Workbook北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』Workbook北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』Workbook北京語言大学出版			
《評価の方法》			
教師評価50％（小テスト、出席、授業態度、提出物などによる評価） 校内試験50％			
《備考》			

授業科目名：中国語（会話）		クラス：1年中国語	
担当：俞虹・楊玲・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ピンインからスタートして、文字、語彙、文法の習得を確認しながら、ペアワークやグループワークを通して、場面に適した会話力を伸ばす。			
《到達目標（1年間）》			
HSKk(Hanyu Shuiping Kaoshi＝中国語レベル試験) 初級の取得 初級レベルの会話で自由に受け答えができる ※H1（初級）～H6（上級）			
《授業の進め方と方法》		講義・演習	
1～2カ月間をかけて中国語の基礎となるピンイン（発音）を習い、会話を中心に課ごと進めていく。			
《授業計画》			
1年間（HSK1級～3級に出てくる表現を身に着ける）			
4月～ 挨拶文、自己紹介、友達紹介			
5月～ HSK1級（前半）、ペアワーク、グループワーク、応用			
6月～ HSK1級（後半）、ペアワーク、グループワーク、応用			
7月～ HSK2級（5課まで）、ペアワーク、グループワーク、応用			
9月～ HSK2級（10課まで）、ペアワーク、グループワーク、応用			
10月～ HSK2級（15課まで）、ペアワーク、グループワーク、応用			
11月～ HSK3級（1課～4課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
12月～ HSK3級（5課～8課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
1月～ HSK3級（9課～12課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
2月～ HSK3級（13課～16課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
3月～ HSK3級（17課～20課）、ペアワーク、グループワーク、応用			
《教科書》			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版			
《評価の方法》			
教師評価100％（出席、発話の積極性、提出物などによる評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語（文法）		クラス：1年韓国語	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次：1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国語文字「ハングル」の認識、発音を身に着け、基礎と中級の文法の説明、練習を重ねて、応用ができ、初級～中級或いは中級～上級へスムーズにシフトできることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
韓国語の発音をマスターし、それぞれのレベルの文の意味を理解し、さらに表現したい文が作れる。 1年②：1年間でTOPIKⅠ～2級・ハン検5級～4級の取得を目指す。 1年①：1年間でTOPIKⅡの3級OR4級、ハングル検定、3級以上			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
発音が終わると課ごとの文法の解説、活用を中心とした授業をする			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2A（テキスト） 第1課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～8課（1A）	①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2B(テキスト) 第1課～第8課（2B） Easy Korean 3A（テキスト） 第1課～第4課（3A） ①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第1課～第8課（1B）	①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 3A（テキスト） 第5課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第1課～第4課（2A）	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A～3A 2022年（改訂版）ハングルパーク			
《評価の方法》			
講師評価100％（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどにより評価する）			
《備考》			

授業科目名：韓国語（総合スキル）		クラス：1年韓国語	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次：1	期間：通年	総時間数：135	単位数：9
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国語の初級と中級の語彙を増やし、文を読み、簡単な文を書いて、本文を聞くなど、総合的な韓国語力を伸ばすのを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
1年②：1年間でTOPIKⅠ～2級・ハン検5級～4級の取得、且つ簡単な読み書きができる			
1年①：1年間でTOPIKⅡの3級OR4級、ハングル検定、3級以上の取得、且つ、中級レベル文の読み書きができる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
ゼロレベルの発音部分では3人の講師がテキストをリレー式で担当していく。発音が終わると課ごとの読み・書き・聞きを重点的に進めていく			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2A（テキスト） 第1課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～8課（1A）	1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2B(テキスト) 第1課～第8課（2B） Easy Korean 3A（テキスト） 第1課～第4課（3A） ①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第1課～第8課（1B）	1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 3A（テキスト） 第5課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第1課～第4課（2A）	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A～3A 2022年（改訂版）ハングルパーク			
《評価の方法》			
講師評価 50％（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどにより評価する） 校内試験 50％			
《備考》			

授業科目名：韓国語（会話）		クラス：1年韓国語	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次：1	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
1年②は簡単なあいさつから始め、日常会話で使う言葉とある程度難易度のある言葉で意思を表現できるようになるのを目的とする。			
1年①は会話の中で慣用句、熟語などの活用ができるようになることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
1年②は日常会話ができる 1年①は読む難しい表現の会話ができる。			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
1年②はハングルが読めるようになったら、課ごと文型を使った練習を通して、応用会話のトレーニングをする。1年①は資料で抜粋した内容の慣用句、熟語、漢字用語を学びながら、会話に活用する。			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
1年①（ハングル検定4級以上） 慣用句から抜粋 漢字成語から抜粋 熟語から抜粋			
①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～8課（1A） 「말하기」部分	①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第1課～第8課（1B） 「말하기」部分	①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第1課～第4課（2A） 「말하기」部分	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク 参考書 [살아있는 한국어] の慣用句、漢字成語、熟語シリーズ			
《評価の方法》			
講師評価100％（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどによる総合評価）			
《備考》			

シラバス

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語①	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験の目標受験級(主にN1)対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N１・N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：副詞・形容詞	【ビジネス日本語】 1学期：Unit１～３	【文法】 1学期：第１～４課	
2学期：形容詞・動詞	2学期：Unit３～５	2学期：第５～８課	
3学期：動詞	3学期：就職活動に向けて ※新しいテキストは未定	3学期：第９～10課	
《教科書》			
『短期合格日本語能力試験N1・N2語彙』スリーエーネットワーク 『中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語』The Japan Times、『文法Buddy JLPTN1』The Japan Times			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語②	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験のN2対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：1～10課	【ビジネス日本語】 1学期：Unit 1 ～2	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	【読解】 1学期：Step1
2学期：11～20課	2学期：Unit 3 ～4	2学期：第 5 ～ 8 課	2学期：Step 2
3学期：20～25課	3学期：Unit5	3学期：第 9 ～10課	3学期：Step 3
《教科書》			
『中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語』The Japan Times、『文法Buddy JLPTN2』The Japan Times 『1回で合格！日本語能力試験N2語彙』ナツメ社、『必ずできる！JLPT「読解」N2』アルク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語③	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験のN2対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N2合格 日本や日本企業で働くために必要な基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：1～10課	【ビジネス日本語】 1学期：Unit 1 ～2	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	【読解】 1学期：Step1
2学期：11～20課	2学期：Unit 3 ～4	2学期：第 5 ～ 8 課	2学期：Step 2
3学期：20～25課	3学期：Unit5	3学期：第 9 ～10課	3学期：Step 3
《教科書》			
『中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語』 The Japan Times、『文法Buddy JLPTN2』 The Japan Times 『１回で合格！日本語能力試験N2語彙』 ナツメ社、『必ずできる！JLPT「読解」N2』 アルク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス日本語（１年）		クラス：日本語④	
担当：青山、山内、勝又、時安、山下、山崎、小林、袴田			
年次：１	期間：通年	総時間数：255	単位数：17
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験のN3対策を通して日本語能力を高め、日本企業に就職可能なごく基礎的な表現が使えるようになることを目的とする。			
《到達目標（１年間）》			
日本語能力試験N3合格 日本で働くために必要なごく基礎的な日本語能力を身に付ける			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、確認・解説を行う。グループワークも行う。			
《授業計画》			
【文字語彙】 1学期：1～12課	【聴解】 1 学期： 1 章～ 8 章 J.TESTの問題	【文法】 1学期：第 1 ～ 4 課	【読解】 1学期：Step1 J.TESTの問題
2学期：14～24課	【ビジネス日本語】 2 学期： 1 ～ 3	2学期：第 5 ～ 8 課	2学期：Step 1 ～ 2
3学期：25～30課	3 学期： 4 ～ 5	3学期：第 9 ～10課	3学期：Step 2
《教科書》			
『JLPT文字・語彙N3ポイント＆プラクティス』スリーエーネットワーク、『文法Buddy JLPTN3』The Japan Times 『日本語速読チャレンジ100 中級』UNICOM、『にほんごで働く！ビジネス日本語30時間』スリーエーネットワーク			
《評価の方法》			
出席、授業への参加度、課題の提出、テスト結果などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			

授業科目名：キャリアプランニングⅠ（留学生）		クラス：日本語①、日本語②、日本語③、日本語④	
担当：山西			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
就職活動に必要な知識を身につけ、より実践的な就職活動に結びつける			
《到達目標（1年間）》			
内定獲得／自ら考え就職活動			
《授業の進め方と方法》			
講義形式で、資料は適時配布			
《授業計画》			
① テーマ・到達目標・授業方法・注意点・評価方法・就職状況 ② 自己紹介 ③ 就職活動の仕組み・年度採用・新卒採用・既卒採用・スケジュール ④ 就職活動にかかる費用・身だしなみ・持ち物・メールアドレス ⑤ 書類の申請（出席証明書・成績証明書・卒業見込み証明書） ⑥ 運転免許・インターンシップ ⑦ 税金（課税証明書・納税証明書・国民健康保険料） ⑧ 就職活動で大切なこと・ほうれんそう ⑨ 就労ビザの考え方（技術・人文知識・国際業務） ⑩ 特定技能			
《教科書》			
自作教材 「就職ノート」を活用			
《評価の方法》			
出席／学習態度／課題提出			
《備考》			
実務経験のある教員が担当する			

授業科目名：教養数学（自由選択）		クラス：1年2年	
担当：高木			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本留学生試験対策、その他の試験または就職活動の対策を目的とする。受講生1人1人にそれぞれに対応する。基礎確認問題、応用問題、実践問題と徐々にレベルを上げながら、講義形式と演習形式を交互に行う。			
《到達目標》			
試験合格を到達目標とする			
《授業の進め方と方法》			
基礎の確認、復習、基本の講義と演習、実際の試験を想定した問題の講義と演習へと進める。講義と演習を交互に行う。			
《授業計画》			
学生1人1人に対応するため、授業計画は個別で対応する			
《教科書》			
日本留学生試験過去問題集、SPI試験対策問題集、数検準2級対策本等。ただし、学生にはコピー等を配布するので用意する必要はない。			
《評価の方法》			
毎回の課題提出、テストなどで評価する。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：【外国語海外研修】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大60/60	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
既習の知識や技能を用いて、学習言語の運用能力の向上を目指す。語学学習に加え、観光など通じ現地の歴史・文化・人に触れることによって、研修国についての理解を深める。			
《到達目標》			
・ 学習言語を用いて生活することができる。 ・ 異文化交流を行い、研修国について理解できる。			
《授業の進め方と方法》			
原則、長期休暇中に本校と提携している学校の短期語学研修プログラムに参加する。			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
本校と提携している学校などの短期語学研修プログラムに参加し、修了証や成績表などのコピーと報告書を提出する。			
主な研修先 英語：フィリピン 中国語：北京、台湾 韓国語：ソウル、プサン			
《教科書》			
各研修機関により異なる。			
《評価の方法》			
研修期間や時間数により単位の認定は行うが、学内評価は行わない。			
《備考》			

授業科目名：英語観光ガイド研修（自由選択）		クラス：選択	
担当：小林典子			
年次：1 または 2 年次	期間：集中	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
観光英語の基礎を学び、日本の観光地を訪れた外国人旅行者に英語で観光地を紹介することができる力を育成する。			
《到達目標》			
●日本の文化（神社とお寺）事象について英語で表現することができる。			
●静岡市の観光名所を外国人旅行者に英語で説明できる。			
《授業の進め方と方法》			
校内で英語表現について学習した後、現場にて実際に外国人旅行者に神社と寺の英語ガイドを行う。			
《授業計画》			
Day 1 （4授業時間） 静岡の名産であるお茶の淹れ方を英語で学習する。 Day 2 （5授業時間） 静岡市の歴史について学び、その英語表現を学習する。 Day 3 （6授業時間） 静岡市の観光名所を訪れ、英語ガイドとして案内を行う。			
《教科書》			
関係書類を活用し、プリントを作成する。			
《評価の方法》			
1 5 授業時間の参加で 1 単位を認定する。			
《備考》			
本研修は、清水港に着港する客船の乗客（外国人旅行者）へ清水市内を案内する「しみず観光ガイドの会（清水市民活動センター内）」の活動の一環として行うものとする。			

シラバス

授業科目名：簿記【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次： 2	期間：集中	総時間数：最大 3 0	単位数：最大 2
授業科目内容			
《 授業の概要と目的 》			
日商簿記検定に合格するための対策講義			
《 到達目標 》			
日商簿記 3 級に合格する。			
《 授業の進め方と方法 》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《 授業計画 》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《 教科書 》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《 評価の方法 》			
出席、取り組みなどを総合的に評価する			
《 備考 》			

シラバス

授業科目名：インターンシップ（自由選択）		クラス：	
担当：山西			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大1/1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
仕事を体験することで、職業に対する理解を深める。			
《到達目標》			
社会人として必要なことを体験を通して身につける。 報告書が書けるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
事前説明 ↓ インターンシップ参加 ↓ 報告書提出 ↓ 報告会			
《教科書》			
《評価の方法》			
単位の認定は行うが、評価はしない。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：日本語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：山内、青山、勝又、時安、永井、山崎			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大120/90	単位数：最大8/6
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験に合格することを目的とし、主に読解対策を行う。			
《到達目標》			
日本語能力試験に合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：英語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：田中、藤田、小林、CORALIA			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英検に合格すること、TOEICおよびIELTSで高得点を取得できる技能を育成する。 ・実用英語技能検定（英検）、TOEIC Listening&Reading、およびIELTSの受験に向け、その試験対策を行う。			
《到達目標》			
英検を受け、受験級に合格できる。 TOEICで650点以上、およびIELTSでバンド5を取得することができる。			
《授業の進め方と方法》			
演習形式で各試験の問題を解き、その後解説を行う。			
《授業計画》			
受講希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：中国語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：兪虹、小林蓮佳、楊玲、名倉			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
HSKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
HSKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する			
《備考》			

シラバス

授業科目名：韓国語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：鄭淑然			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ハングル検定または、S-TOPIKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
ハングル検定に合格すること。 S-TOPIKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

教 育 課 程 表（2026年度生より）

ビジネスコミュニケーション学科

科目区分	必修・ 選択の 別	授業科目	1学年 年間合計 時間	1学年 単位	2学年 年間合計 時間	2学年 単位	授業時間 合計	単位数 合計
専門科目	必修	コミュニケーション	30	2	0	0	30	2
		ビジネスプレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		ビジネス英語	225	15	225	15	450	30
		ビジネスマナー	30	2	30	2	60	4
		ホスピタリティ	30	2	0	0	30	2
		東アジア文化	60	4	60	4	120	8
		貿易	30	2	0	0	30	2
		マーケティング	30	2	30	2	60	4
		人事・労務管理	0	0	30	2	30	2
		マネジメント	30	2	30	2	60	4
		生産・物流管理Ⅰ	30	2	0	0	30	2
		生産・物流管理Ⅱ	0	0	30	2	30	2
	選択必修	パソコンリテラシー(留学生)★	120	8	0	0	120	8
		オフィスIT技術(留学生)★	30	2	60	4	90	6
		パソコンリテラシー(日本人)	60	4	0	0	60	4
		オフィスIT技術(日本人)	15	1	30	2	45	3
		中国語	345	23	390	26	735	49
		韓国語	345	23	390	26	735	49
		ビジネス日本語★	255	17	300	20	555	37
		キャリアプランニングⅠ★	15	1	0	0	15	1
		キャリアプランニングⅡ★	0	0	60	4	60	4
	自由 選択 (注1) (注2)	教養数学	30	2	30	2	60	4
		英語研修	60	4	60	4	120	8
		英語観光ガイド研修	15	1	15	1	30	2
		中国語研修	60	4	60	4	120	8
		韓国語研修	60	4	60	4	120	8
		簿記(検定対策)	0	0	30	2	30	2
		インターンシップ	30	2	30	2	60	4
		日本語検定対策	120	8	90	6	210	14
		英語検定対策	75	5	60	4	135	9
		中国語検定対策	75	5	60	4	135	9
		韓国語検定対策	75	5	60	4	135	9

卒業に必要な総授業時間数	870	58	870	58	1740	
--------------	-----	----	-----	----	------	--

注1:自由選択科目には長期休暇中などに実施されるものもある。

注2:外国語検定対策以外の自由選択科目は、1年次または2年次のいずれかで履修すること。

選択必修では、留学生は★の科目を選択